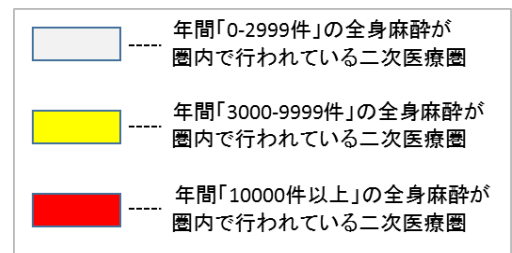
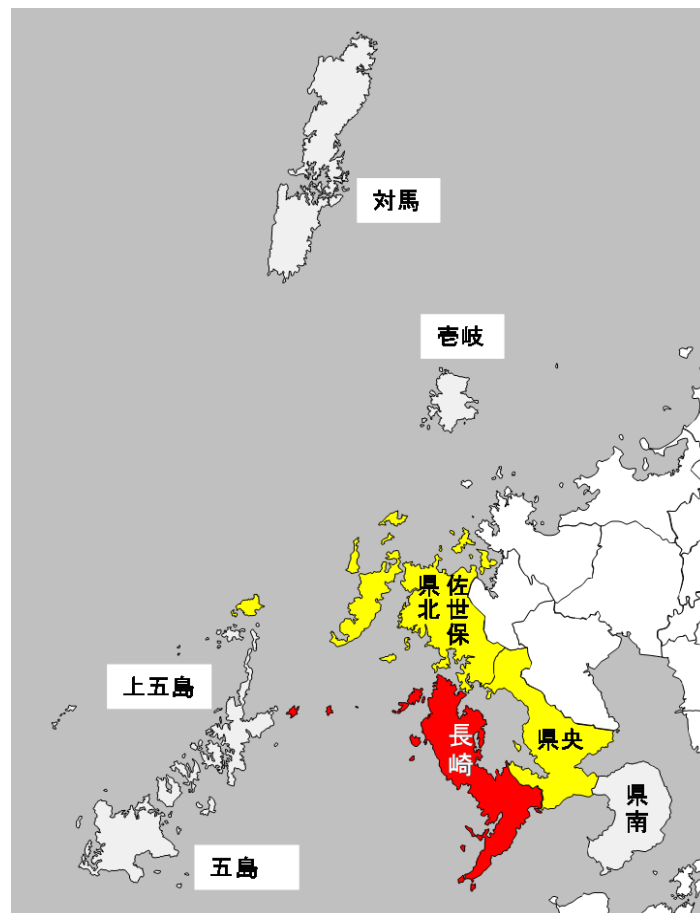


42. 長崎県

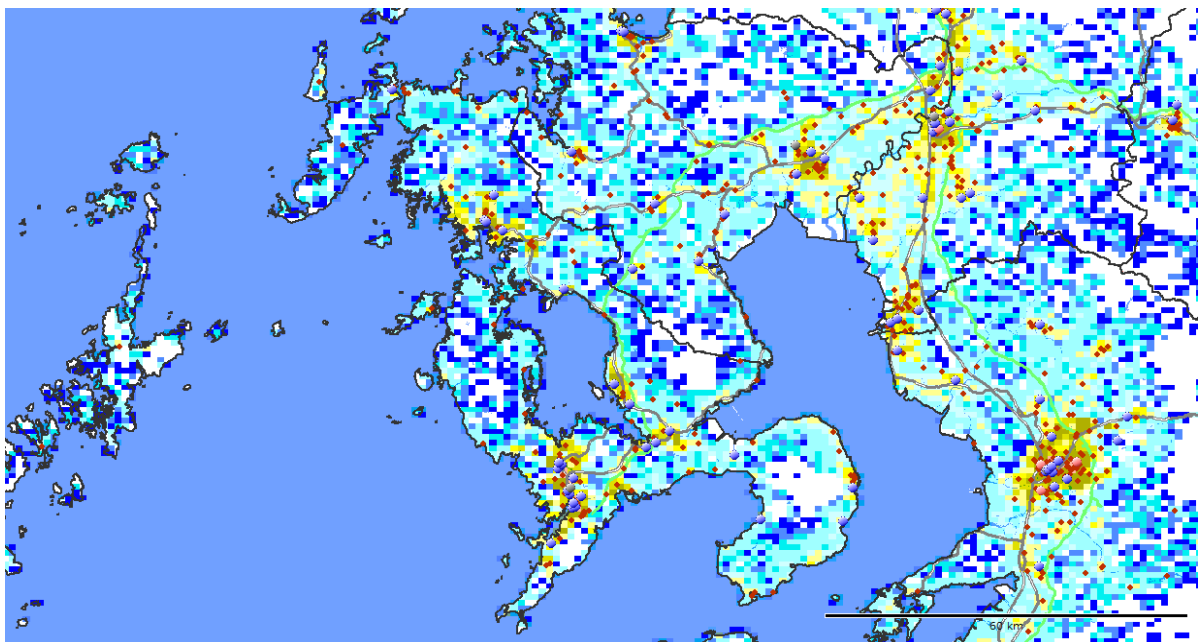


目次

長崎県	42	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	42	-	8
1. 長崎医療圏	42	-	26
2. 佐世保県北医療圏	42	-	31
3. 県央医療圏	42	-	36
4. 県南医療圏	42	-	41
5. 五島医療圏	42	-	46
6. 上五島医療圏	42	-	51
7. 壱岐医療圏	42	-	56
8. 対馬医療圏	42	-	61

42. 長崎県

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は
中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(長崎県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 長崎県は、総人口約1,377千人(2015年)、面積4,132km²、人口密度は333人/km²である。

*人口の将来予測： 長崎県の総人口は2025年に1,258千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に1,054千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の214千人が、2025年にかけて251千人へと増加し(2015年比+17%)、2040年には262千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 長崎県の一人当たり医療費(国保)は407千円(偏差値64)、介護給付費は284千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 長崎県の一人当たり急性期医療密度指数は1.12、一人当たり慢性期医療密度指数は1.88で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が56(病院医師数55、診療所医師数59)と、総医師数、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値63と多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は65で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 長崎県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、22,738人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が12,847床(偏差値49)、高齢者住宅等が9,891床(偏差値52)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、19,259人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム41、軽費ホーム60、グループホーム69、サ高住50である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値61と多く、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2,841人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-3%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移

【人口と医療需要】

長崎県の総人口は、2005年1,478,632人が、2015年に1,377,187人と7%減少し、2025年の人口が1,257,939人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

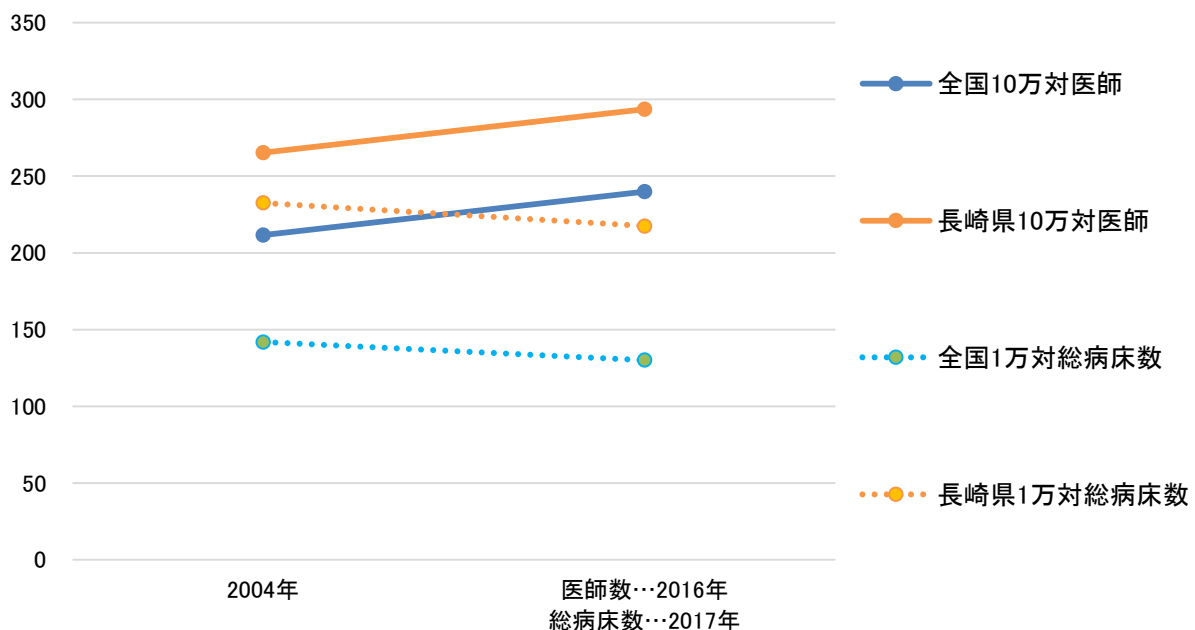
2004年の病院数が169(人口10万人当たり11.4病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2017年に150(人口10万人当たり10.9病院(全国平均6.6)偏差値59)となり、13年間で19病院が減少した。

2004年の診療所数が1,450(人口10万人当たり98診療所(全国平均76)偏差値61)であったが、2017年に1,380(人口10万人当たり100診療所(全国平均80)偏差値61)と、70診療所が減少した。

2004年の総病床数が34,382床(人口1万人当たり233(全国平均142)偏差値66)であったが、2017年に29,941床(人口1万人当たり217(全国平均130)偏差値66)と、4,441床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

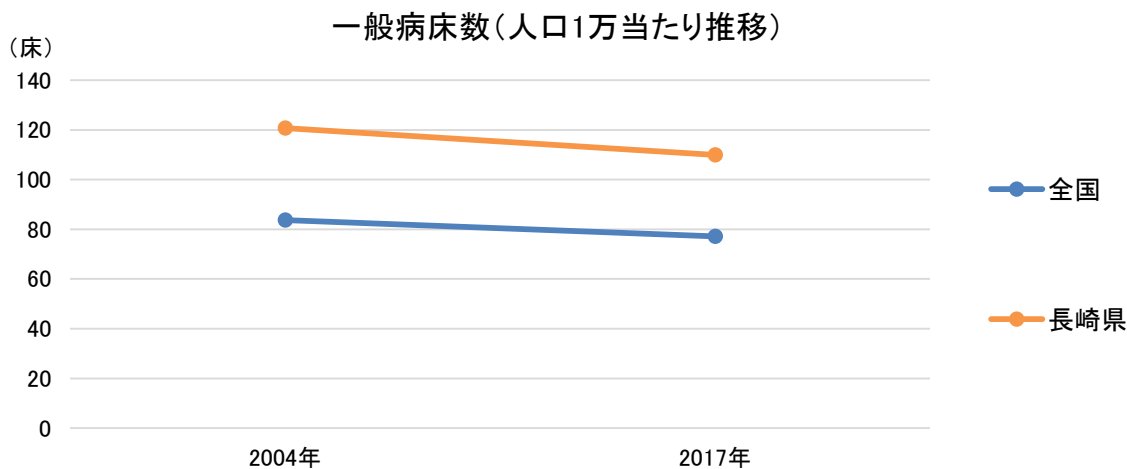
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が3,924人(人口10万人当たり265人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2016年に4,042人(人口10万人当たり293人(全国平均240人)偏差値56)と、118人の増加、率にして3%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



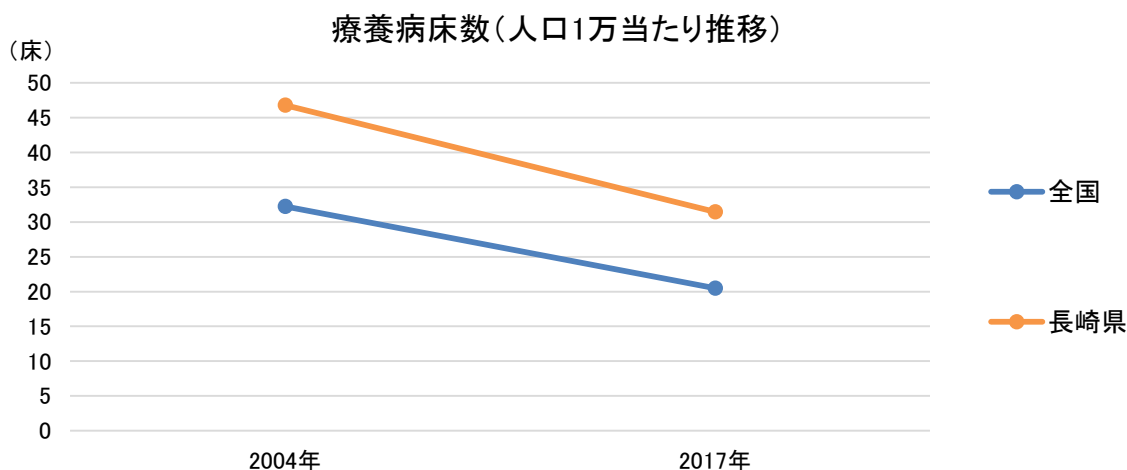
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が17,860床(人口1万人当たり121(全国平均84)偏差値63)であったが、2017年に15,142床(人口1万人当たり110(全国平均77)偏差値63)と、2,718床の減少、率にして15%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



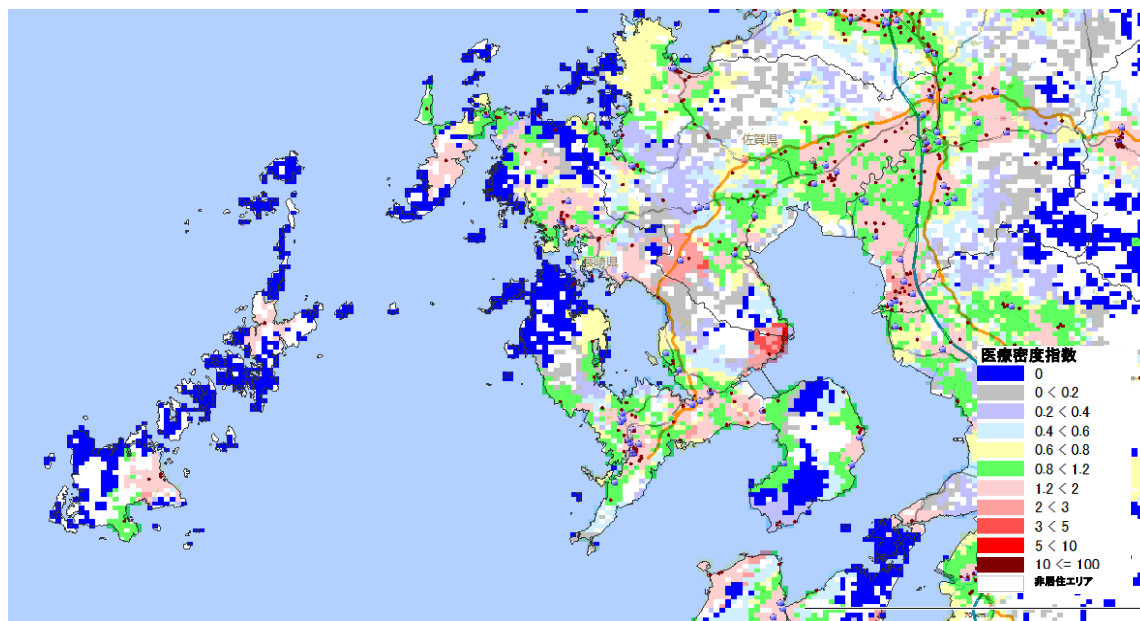
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が8,000床(75歳以上1,000人当たり47(全国平均32)偏差値58)であったが、2017年に6,743床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均20)偏差値60)と、1257床の減少、率にして16%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



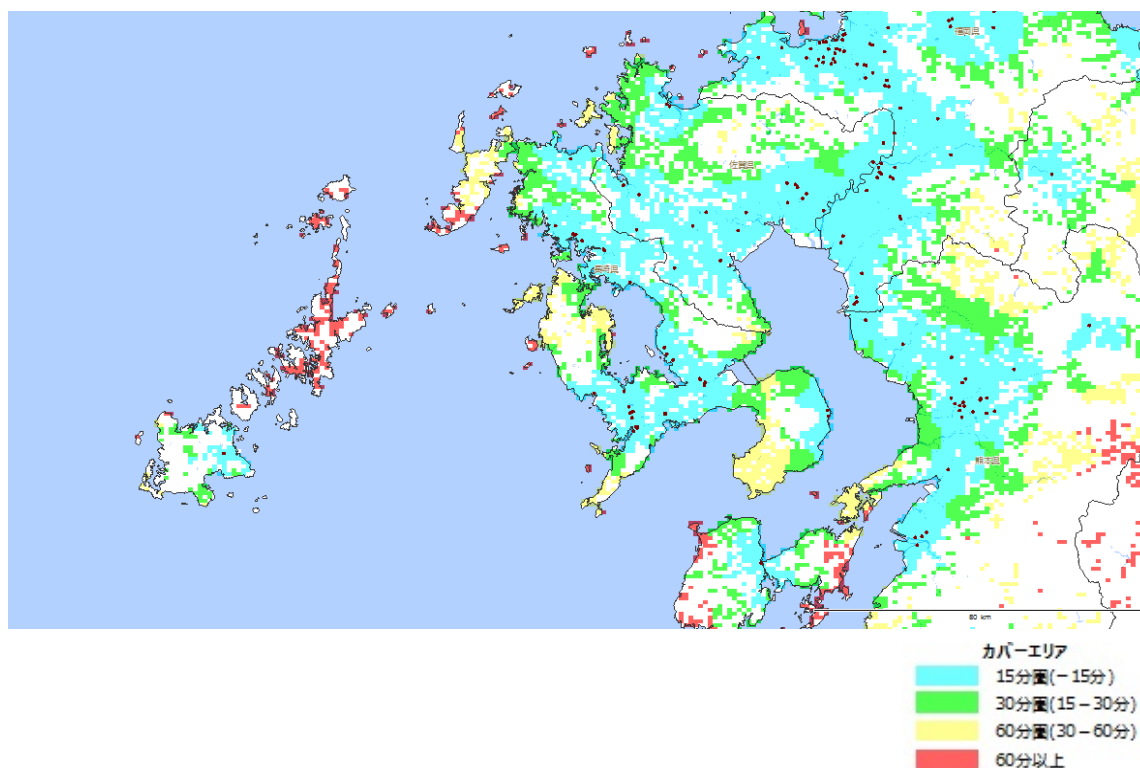
(長崎県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 42-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
長崎県	1,377	29位	4,132	37位	333.3		30%	1,258	1,054	214	251	262	-9%	-16%	17%	4%
長崎	531	39%	697	17%	761.1	地方都市型	29%	488	412	78	96	103	-8%	-16%	23%	7%
佐世保県北	324	24%	824	20%	393.6	地方都市型	30%	299	256	51	59	57	-8%	-14%	16%	-3%
県央	268	19%	636	15%	421.5	地方都市型	26%	258	232	35	45	52	-4%	-10%	29%	16%
県南	136	10%	467	11%	291.2	地方都市型	34%	118	90	26	27	28	-13%	-24%	4%	4%
五島	37	3%	420	10%	88.9	過疎地域型	37%	30	21	8	8	8	-19%	-30%	0%	0%
上五島	22	2%	239	6%	93.0	過疎地域型	39%	17	10	5	5	4	-23%	-41%	0%	-20%
杵岐	27	2%	139	3%	194.4	過疎地域型	35%	23	16	5	5	5	-15%	-30%	0%	0%
対馬	31	2%	709	17%	44.4	過疎地域型	34%	25	16	6	6	5	-19%	-36%	0%	-17%

出典 <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
<人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月
<面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月

資_図表 42-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,485,377	1,772,098	-19.3%
長崎県	1.12	1.88	19,972	20,530	-2.8%
長崎	1.34	2.15	6,351	7,816	-23.1%
佐世保県北	1.14	1.60	5,792	4,800	17.1%
県央	1.07	2.20	2,528	3,706	-46.6%
県南	0.55	0.66	2,854	2,245	21.3%
五島	1.04	1.06	876	653	25.5%
上五島	0.51	2.75	523	388	25.9%
杵岐	0.81	0.82	418	450	-7.6%
対馬	0.84	2.05	630	474	24.8%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375))
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 42-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費 (国保のみ) (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+調剤 (単位:千円)			被保険者一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	347	(43)	1.000	133	(30)	1.000	188	(17)	1.000	252	(35)
長崎県	407	64	1.157	187	68	1.375	196	54	1.026	284	59
長崎	436	71	1.223	194	70	1.407	215	65	1.110	286	60
佐世保県北	392	60	1.106	182	66	1.330	187	49	0.970	284	59
県央	418	67	1.177	202	73	1.477	190	51	0.987	242	47
県南	368	55	1.104	167	61	1.294	179	45	0.994	322	70
五島	352	51	0.970	163	60	1.157	172	40	0.873	335	74
上五島	378	57	1.004	167	61	1.139	187	49	0.917	325	71
杵岐	415	66	1.197	198	72	1.483	197	55	1.048	280	58
対馬	356	52	1.021	165	60	1.222	170	39	0.898	271	55
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 42-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)			入院費 (単位:千円)			入院外+ 調剤 (単位:千円)		
	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数		偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	
全国	919	(120)	1.000	458	(98)	1.000	427	(39)	1.000
長崎県	1,076	63	1.169	606	65	1.303	438	53	1.042
長崎	1,262	79	1.386	718	77	1.562	504	70	1.208
佐世保県北	975	55	1.069	536	58	1.158	410	46	0.983
県央	1,049	61	1.152	605	65	1.319	413	46	0.986
県南	1,005	57	1.094	583	63	1.246	396	42	0.949
五島	766	37	0.838	385	43	0.827	361	33	0.869
上五島	769	37	0.839	372	41	0.802	373	36	0.891
杵岐	906	49	0.982	511	55	1.085	376	37	0.897
対馬	810	41	0.892	429	47	0.946	366	34	0.867
出典	<一人あたり医療費>平成28年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

資_図表 42-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,412		6.6	(4.6)	101,471		80	(18.9)
長崎県	150	1.8%	10.9	59	1,380	1.4%	100	61
長崎	53	35%	10.0	57	640	46%	121	72
佐世保県北	36	24%	11.1	60	273	20%	84	52
県央	32	21%	11.9	62	249	18%	93	57
県南	17	11%	12.5	63	105	8%	77	49
五島	4	3%	10.7	59	41	3%	110	66
上五島	1	1%	4.5	45	22	2%	99	60
舌岐	5	3%	18.4	76	18	1%	66	43
対馬	2	1%	6.4	49	32	2%	102	62
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 42-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	101,471		80	(18.9)	94,269		74	(18.7)	7,202		5.7	(6.0)
長崎県	1,380	1.4%	100	61	1,133	1.2%	82	54	247	3.4%	17.9	71
長崎	640	46%	121	72	561	50%	106	67	79	32%	14.9	65
佐世保県北	273	20%	84	52	210	19%	65	45	63	26%	19.4	73
県央	249	18%	93	57	190	17%	71	48	59	24%	22.0	77
県南	105	8%	77	49	71	6%	52	38	34	14%	25.0	82
五島	41	3%	110	66	31	3%	83	55	10	4%	26.8	85
上五島	22	2%	99	60	21	2%	94	61	1	0%	4.5	48
舌岐	18	1%	66	43	18	2%	66	46	0	0%	0	40
対馬	32	2%	102	62	31	3%	99	63	1	0%	3.2	46
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 42-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,554,879		1,223	(481)	98,355		77	(94)	1,653,234		1,301	(537)
長崎県	26,301	1.7%	1,910	64	3,640	3.7%	264	70	29,941	1.8%	2,174	66
長崎	11,135	42%	2,099	68	1,180	32%	222	65	12,315	41%	2,321	69
佐世保県北	5,829	22%	1,797	62	894	25%	276	71	6,723	22%	2,073	64
県央	5,600	21%	2,089	68	882	24%	329	77	6,482	22%	2,418	71
県南	2,198	8%	1,615	58	538	15%	395	84	2,736	9%	2,010	63
五島	508	2%	1,361	53	123	3%	330	77	631	2%	1,690	57
上五島	186	1%	835	42	17	0%	76	50	203	1%	911	43
壱岐	510	2%	1,882	64	0	0%	0	42	510	2%	1,882	61
対馬	335	1%	1,065	47	6	0%	19	44	341	1%	1,084	46
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 42-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,865		701	(223)	325,228		256	(203)	331,700		261	(210)
長崎県	11,977	1.3%	870	58	6,268	1.9%	455	60	7,896	2.4%	573	65
長崎	4,813	40%	907	59	2,492	40%	470	61	3,803	48%	717	72
佐世保県北	2,695	23%	831	56	1,645	26%	507	62	1,463	19%	451	59
県央	2,602	22%	971	62	1,088	17%	406	57	1,843	23%	687	70
県南	827	7%	608	46	763	12%	561	65	604	8%	444	59
五島	380	3%	1,018	64	54	1%	145	45	60	1%	161	45
上五島	132	1%	593	45	50	1%	224	48	0	0%	0	38
壱岐	246	2%	908	59	176	3%	649	69	78	1%	288	51
対馬	282	2%	896	59	0	0%	0	37	45	1%	143	44
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 42-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数				地域包括ケア病床数			
	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	80,806		64	(46)	73,895		58	(63)
長崎県	1,210	1.5%	88	55	1,807	2.4%	131	62
長崎	643	53%	121	62	849	47%	160	66
佐世保県北	246	20%	76	53	260	14%	80	54
県央	201	17%	75	52	248	14%	93	55
県南	120	10%	88	55	252	14%	185	70
五島	0	0%	0	36	50	3%	134	62
上五島	0	0%	0	36	40	2%	180	69
杵岐	0	0%	0	36	56	3%	207	74
対馬	0	0%	0	36	52	3%	165	67
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				平成30年5月地方厚生局			

資_図表 42-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	445,096	396,156	16,674	1,098,305	495,042	301,360	44.5%	(27%)	5.2%	(22%)
長崎県	6,801	6,066	240	19,082	5,809	5,910	51.1%	52	3.9%	49
長崎	1,952	1,883	0	8,936	2,844	2,491	39.8%	48	0.0%	48
佐世保県北	1,756	1,648	82	3,938	1,027	1,452	61.6%	56	5.3%	50
県央	1,581	1,376	0	3,989	1,230	1,088	52.8%	53	0.0%	48
県南	404	340	60	1,794	487	703	41.1%	49	7.9%	51
五島	359	285	0	149	95	54	75.0%	61	0.0%	48
上五島	186	132	50	0	0	0	100.0%	71	100.0%	92
杵岐	228	120	48	276	126	122	48.8%	52	28.2%	60
対馬	335	282	0	0	0	0	100.0%	71		
出典	地方厚生局指定一覧平成30年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 42-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	3,945,312		3,104	(2,557)	923,436		727	(264)
長崎県	25,944	0.7%	1,884	45	11,844	1.3%	860	55
長崎	13,428	52%	2,531	48	4,416	37%	832	54
佐世保県北	6,444	25%	1,987	46	2,868	24%	884	56
県央	4,848	19%	1,808	45	3,036	26%	1,132	65
県南	756	3%	556	40	1,020	9%	750	51
五島	0	0%	0	38	144	1%	386	37
上五島	0	0%	0	38	108	1%	485	41
杵岐	324	1%	1,195	43	48	0%	177	29
対馬	144	1%	458	40	204	2%	649	47
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 42-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	304,759		240	(90)	202,302		159	(72)	102,457		81	(23)
長崎県	4,042	1.3%	293	56	2,647	1.3%	192	55	1,395	1.4%	101	59
長崎	2,052	51%	387	66	1,359	51%	256	63	693	50%	131	71
佐世保県北	738	18%	228	49	483	18%	149	49	255	18%	79	49
県央	817	20%	305	57	536	20%	200	56	281	20%	105	60
県南	243	6%	179	43	141	5%	104	42	102	7%	75	48
五島	71	2%	190	44	44	2%	118	44	27	2%	72	46
上五島	29	1%	130	38	20	1%	90	40	9	1%	40	33
杵岐	43	1%	159	41	28	1%	103	42	15	1%	55	39
対馬	49	1%	156	41	36	1%	114	44	13	1%	41	33
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 42-13 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科				小児科				産婦人科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	22,522		17.7	(9.2)	13,551		10.7	(4.8)	11,242		8.8	(4.0)
長崎県	287	1.3%	20.8	53	162	1.2%	11.8	52	157	1.4%	11.4	56
長崎	167	58%	31.5	65	78	48%	14.7	59	80	51%	15.1	65
佐世保県北	45	16%	13.9	46	25	15%	7.7	44	30	19%	9.3	51
県央	53	18%	19.8	52	51	31%	19.0	68	28	18%	10.4	54
県南	14	5%	10.3	42	3	2%	2.2	32	11	7%	8.1	48
五島	5	2%	13.4	45	2	1%	5.4	39	2	1%	5.4	41
上五島	1	0%	4.5	36	0	0%	0	28	1	1%	4.5	39
壱岐	1	0%	3.7	35	3	2%	11.1	51	2	1%	7.4	46
対馬	1	0%	3.2	34	0	0%	0	28	3	2%	9.5	52
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 42-14 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,609		4.4	(2.2)	9,812		7.7	(3.3)	7,687		6.0	(2.6)
長崎県	71	1.3%	5.2	53	100	1.0%	7.3	49	83	1.1%	6.0	50
長崎	41	58%	7.7	65	57	57%	10.7	59	44	53%	8.3	58
佐世保県北	10	14%	3.1	44	17	17%	5.2	42	19	23%	5.9	49
県央	15	21%	5.6	55	16	16%	6.0	45	17	20%	6.3	51
県南	5	7%	3.7	47	4	4%	2.9	35	0	0%	0	27
五島	0	0%	0	30	1	1%	2.7	35	2	2%	5.4	47
上五島	0	0%	0	30	1	1%	4.5	40	0	0%	0	27
壱岐	0	0%	0	30	3	3%	11.1	60	0	0%	0	27
対馬	0	0%	0	30	1	1%	3.2	36	1	1%	3.2	39
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 42-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	9,177		7.2	(3.4)	21,168		16.7	(7.1)	16,463		13.0	(4.6)
長崎県	133	1.4%	9.7	57	261	1.2%	19.0	53	226	1.4%	16.4	57
長崎	65	49%	12.3	65	134	51%	25.3	62	113	50%	21.3	68
佐世保県北	22	17%	6.8	49	53	20%	16.3	50	40	18%	12.3	49
県央	35	26%	13.1	67	50	19%	18.7	53	46	20%	17.2	59
県南	7	5%	5.1	44	12	5%	8.8	39	18	8%	13.2	51
五島	3	2%	8.0	52	8	3%	21.4	57	3	1%	8.0	39
上五島	0	0%	0	29	1	0%	4.5	33	1	0%	4.5	32
壱岐	1	1%	3.7	40	0	0%	0	27	2	1%	7.4	38
対馬	0	0%	0	29	3	1%	9.5	40	3	1%	9.5	43
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 42-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,003		4.7	(2.1)	6,763		5.3	(2.4)	5,687		4.5	(3.0)
長崎県	80	1.3%	5.8	55	70	1.0%	5.1	49	74	1.3%	5.4	53
長崎	41	51%	7.7	64	33	47%	6.2	54	39	53%	7.4	59
佐世保県北	16	20%	4.9	51	19	27%	5.9	52	14	19%	4.3	49
県央	13	16%	4.8	51	12	17%	4.5	46	14	19%	5.2	52
県南	9	11%	6.6	59	4	6%	2.9	40	5	7%	3.7	47
五島	1	1%	2.7	40	1	1%	2.7	39	1	1%	2.7	44
上五島	0	0%	0	28	0	0%	0	27	0	0%	0	35
壱岐	0	0%	0	28	0	0%	0	27	0	0%	0	35
対馬	0	0%	0	28	1	1%	3.2	41	1	1%	3.2	46
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

42.長崎県(2018年版)

資_図表 42-17 専門医数(麻醉科、病理、救急科)

二次医療圏	麻醉科				病理 専門医数				救急科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	7,107		5.6	(3.3)	1,603		1.3	(1.0)	3,795		3.0	(1.9)
長崎県	85	1.2%	6.2	52	19	1.2%	1.4	51	37	1.0%	2.7	48
長崎	48	56%	9.0	60	10	53%	1.9	56	11	30%	2.1	45
佐世保県北	15	18%	4.6	47	3	16%	0.9	47	13	35%	4.0	55
県央	16	19%	6.0	51	5	26%	1.9	56	10	27%	3.7	54
県南	5	6%	3.7	44	1	5%	0.7	45	1	3%	0.7	38
五島	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	34
上五島	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	34
壱岐	1	1%	3.7	44	0	0%	0	37	0	0%	0	34
対馬	0	0%	0	33	0	0%	0	37	2	5%	6.4	68
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月											

資_図表 42-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科				リハビリテ ーション科 専門医数			
	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,141		1.7	(1.3)	2,516		2.0	(1.4)
長崎県	34	1.6%	2.5	56	22	0.9%	1.6	47
長崎	20	59%	3.8	67	14	64%	2.6	55
佐世保県北	5	15%	1.5	49	4	18%	1.2	45
県央	8	24%	3.0	60	2	9%	0.7	41
県南	1	3%	0.7	42	1	5%	0.7	41
五島	0	0%	0	37	0	0%	0	36
上五島	0	0%	0	37	0	0%	0	36
壱岐	0	0%	0	37	1	5%	3.7	62
対馬	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 42-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
長崎県	19,141	1.7%	1,390	67	14,936	1.6%	1,085	65	4,204	1.9%	305	68
長崎	7,949	42%	1,498	71	6,473	43%	1,220	70	1,477	35%	278	64
佐世保県北	4,337	23%	1,337	65	3,286	22%	1,013	62	1,051	25%	324	71
県央	4,170	22%	1,556	73	3,146	21%	1,173	69	1,025	24%	382	79
県南	1,602	8%	1,177	60	1,203	8%	884	57	398	9%	293	66
五島	373	2%	998	53	248	2%	664	48	125	3%	334	72
上五島	172	1%	771	45	119	1%	534	42	53	1%	237	58
舌岐	260	1%	960	52	228	2%	841	55	32	1%	119	42
対馬	278	1%	884	49	234	2%	745	51	44	1%	140	45
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 42-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	139,385		110	(57)	301,323		237	(98)
長崎県	2,562	1.8%	186	63	2,901	1.0%	211	47
長崎	1,213	47%	229	71	1,439	50%	271	53
佐世保県北	505	20%	156	58	584	20%	180	44
県央	464	18%	173	61	511	18%	191	45
県南	294	11%	216	69	196	7%	144	40
五島	17	1%	46	39	52	2%	139	40
上五島	12	0%	54	40	27	1%	121	38
舌岐	30	1%	111	50	43	1%	159	42
対馬	27	1%	85	46	49	2%	156	42
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月			

資_図表 42-21 在宅医療施設数(在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,224		0.9	(0.4)	1,386		0.1	(0.1)	10,994		0.7	(0.2)
長崎県	292	2.1%	1.4	61	28	2.0%	0.1	57	140	1.3%	0.7	49
長崎	148	51%	1.9	74	11	39%	0.1	58	64	46%	0.8	57
佐世保県北	41	14%	0.8	48	5	18%	0.1	52	24	17%	0.5	41
県央	72	25%	2.0	76	4	14%	0.1	54	23	16%	0.6	49
県南	23	8%	0.9	50	5	18%	0.2	65	14	10%	0.5	44
五島	2	1%	0.2	36	1	4%	0.1	56	6	4%	0.7	53
上五島	0	0%	0	30	1	4%	0.2	67	3	2%	0.6	47
壱岐	5	2%	0.9	51	1	4%	0.2	64	3	2%	0.6	44
対馬	1	0%	0.2	34	0	0%	0	38	3	2%	0.5	43
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成30年6月			

資_図表 42-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,695,162		104	(17)	1,001,413		61	(12)	693,749		43	(16)
長崎県	22,738	1.3%	106	51	12,847	1.3%	60	49	9,891	1.4%	46	52
長崎	7,264	32%	94	44	4,338	34%	56	46	2,926	30%	38	47
佐世保県北	6,577	29%	129	65	3,351	26%	66	53	3,226	33%	63	63
県央	3,209	14%	90	42	1,729	13%	49	40	1,480	15%	42	49
県南	3,169	14%	122	61	1,598	12%	62	50	1,571	16%	61	62
五島	928	4%	116	57	546	4%	68	55	382	4%	48	53
上五島	523	2%	105	51	395	3%	79	65	128	1%	26	39
壱岐	438	2%	80	36	400	3%	74	60	38	0%	7	27
対馬	630	3%	108	53	490	4%	84	68	140	1%	24	38
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 42-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
長崎県	4,750	1.3%	22	49	7,076	1.2%	33	48	1,021	1.7%	4.8	53
長崎	1,708	36%	22	49	2,345	33%	30	45	285	28%	3.7	50
佐世保県北	1,065	22%	21	47	1,824	26%	36	50	462	45%	9.0	64
県央	680	14%	19	44	954	13%	27	42	95	9%	2.7	48
県南	617	13%	24	52	822	12%	32	46	159	16%	6.1	56
五島	200	4%	25	54	346	5%	43	58	0	0%	0	41
上五島	160	3%	32	66	235	3%	47	62	0	0%	0	41
壱岐	160	3%	29	62	220	3%	40	55	20	2%	3.7	50
対馬	160	3%	28	59	330	5%	57	72	0	0%	0	41
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 42-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
長崎県	1,116	0.5%	5.2	41	760	3.3%	3.5	60	4,981	2.5%	23.2	69
長崎	296	27%	3.8	40	100	13%	1.3	49	1,471	30%	19.0	61
佐世保県北	678	61%	13.3	49	430	57%	8.4	83	1,257	25%	24.6	71
県央	18	2%	0.5	37	50	7%	1.4	50	731	15%	20.6	64
県南	124	11%	4.8	41	130	17%	5.0	67	976	20%	37.6	94
五島	0	0%	0	37	0	0%	0	43	330	7%	41.1	100
上五島	0	0%	0	37	0	0%	0	43	108	2%	21.7	66
壱岐	0	0%	0	37	0	0%	0	43	18	0%	3.3	34
対馬	0	0%	0	37	50	7%	8.6	84	90	2%	15.5	55
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 42-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住) 定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
					サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	231,875		14.2	(7.0)	22,090		1.4	(1.8)	209,785		12.9	(6.8)
長崎県	3,034	1.3%	14.2	50	268	1.2%	1.3	49	2,766	1.3%	12.9	50
長崎	1,059	35%	13.7	49	146	54%	1.9	53	913	33%	11.8	48
佐世保県北	861	28%	16.8	54	76	28%	1.5	51	785	28%	15.4	54
県央	681	22%	19.2	57	0	0%	0	43	681	25%	19.2	59
県南	341	11%	13.1	48	26	10%	1.0	48	315	11%	12.1	49
五島	52	2%	6.5	39	0	0%	0	43	52	2%	6.5	41
上五島	20	1%	4.0	35	20	7%	4.0	65	0	0%	0	31
壱岐	20	1%	3.7	35	0	0%	0	43	20	1%	3.7	36
対馬	0	0%	0	30	0	0%	0	43	0	0%	0	31
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成30年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 42-26 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	171,768		10.5	(2.3)	120,155		7.4	(2.0)	51,613		3.2	(1.1)
長崎県	2,557	1.5%	11.9	56	1,935	1.6%	9.0	58	622	1.2%	2.9	48
長崎	883	35%	11.4	54	591	31%	7.6	51	292	47%	3.8	56
佐世保県北	699	27%	13.7	64	593	31%	11.6	71	105	17%	2.1	40
県央	348	14%	9.8	47	239	12%	6.7	47	109	18%	3.1	49
県南	378	15%	14.6	68	320	17%	12.3	75	59	9%	2.3	42
五島	87	3%	10.8	51	61	3%	7.6	51	26	4%	3.2	51
上五島	52	2%	10.4	50	39	2%	7.9	53	13	2%	2.5	44
壱岐	63	2%	11.5	54	50	3%	9.1	59	13	2%	2.4	43
対馬	48	2%	8.2	40	42	2%	7.2	49	6	1%	1.0	30
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 42-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,507,968		92	(12.4)	1,286,309		79	(11.2)	221,659		13.6	(5.6)
長崎県	22,099	1.5%	103	59	19,259	1.5%	90	60	2,841	1.3%	13.3	49
長崎	8,187	37%	106	61	6,723	35%	87	57	1,465	52%	18.9	59
佐世保県北	5,231	24%	102	58	4,767	25%	93	63	464	16%	9.1	42
県央	3,268	15%	92	50	2,808	15%	79	50	461	16%	13.0	49
県南	2,744	12%	106	61	2,587	13%	100	69	156	6%	6.0	37
五島	960	4%	119	72	821	4%	102	71	138	5%	17.2	56
上五島	610	3%	123	74	572	3%	115	82	38	1%	7.6	39
壱岐	529	2%	97	54	441	2%	81	52	88	3%	16.2	55
対馬	570	3%	98	55	539	3%	93	62	31	1%	5.3	35
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 42-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	511,065		31	(13)	1,218,955		75	(26)
長崎県	13,251	1.1%	62	46	4,597	0.9%	21	42	15,586	1.3%	73	49
長崎	6,835	52%	88	54	2,497	54%	32	51	8,878	57%	115	65
佐世保県北	3,322	25%	65	47	775	17%	15	38	2,050	13%	40	37
県央	1,746	13%	49	43	595	13%	17	39	1,978	13%	56	43
県南	939	7%	36	39	363	8%	14	37	1,360	9%	52	42
五島	247	2%	31	37	126	3%	16	38	552	4%	69	48
上五島	18	0%	4	30	67	1%	13	36	202	1%	41	37
壱岐	114	1%	21	35	125	3%	23	44	367	2%	67	47
対馬	30	0%	5	30	49	1%	8	33	199	1%	34	35
出典	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

42.長崎県(2018年版)

資_図表 42-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
長崎県		1,478,632	1,377,187	-7%	1,257,939	-15%	4%	1%	5%
長崎	地方都市型	560,668	530,551	-5%	488,301	-13%	6%	3%	9%
佐世保県北	地方都市型	348,653	324,294	-7%	298,565	-14%	3%	-1%	2%
県央	地方都市型	272,256	268,091	-2%	258,378	-5%	10%	7%	17%
県南	地方都市型	154,088	136,086	-12%	117,762	-24%	-2%	-4%	-6%
五島	過疎地域型	44,765	37,327	-17%	30,483	-32%	-6%	-8%	-14%
上五島	過疎地域型	28,307	22,278	-21%	16,930	-40%	-9%	-13%	-21%
壱岐	過疎地域型	31,414	27,103	-14%	22,644	-28%	-4%	-9%	-13%
対馬	過疎地域型	38,481	31,457	-18%	24,876	-35%	-5%	-10%	-15%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,居間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 42-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,412	6.6	(4.6)	-665	-7%
長崎県	169	11.4	61	150	10.9	59	-19	-11%
長崎	62	11.1	60	53	10.0	57	-9	-15%
佐世保県北	41	11.8	62	36	11.1	60	-5	-12%
県央	31	11.4	61	32	11.9	62	1	3%
県南	17	11.0	60	17	12.5	63	0	0%
五島	5	11.2	61	4	10.7	59	-1	-20%
上五島	3	10.6	59	1	4.5	45	-2	-67%
壱岐	7	22.3	89	5	18.4	76	-2	-29%
対馬	3	7.8	52	2	6.4	49	-1	-33%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 42-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	101,471	80	(19)	4,420	5%
長崎県	1,450	98	61	1,380	100	61	-70	-5%
長崎	676	121	72	640	121	72	-36	-5%
佐世保県北	303	87	55	273	84	52	-30	-10%
県央	251	92	58	249	93	57	-2	-1%
県南	105	68	46	105	77	49	0	0%
五島	45	101	62	41	110	66	-4	-9%
上五島	22	78	51	22	99	60	0	0%
壱岐	15	48	36	18	66	43	3	20%
対馬	33	86	55	32	102	62	-1	-3%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 42-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2016年			2004→2016増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	304,759	240	(90)	34,388	13%
長崎県	3,924	265	56	4,042	293	56	118	3%
長崎	1,964	350	67	2,052	387	66	88	4%
佐世保県北	777	223	51	738	228	49	-39	-5%
県央	717	263	56	817	305	57	100	14%
県南	249	162	44	243	179	43	-6	-2%
五島	80	179	46	71	190	44	-9	-11%
上五島	37	131	40	29	130	38	-8	-22%
壱岐	43	137	41	43	159	41	0	0%
対馬	57	148	42	49	156	41	-8	-14%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2016年>平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成28年12月							

資_図表 42-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,653,234	130	(54)	-159,320	-9%
長崎県	34,382	233	66	29,941	217	66	-4,441	-13%
長崎	14,176	253	70	12,315	232	69	-1,861	-13%
佐世保県北	7,567	217	63	6,723	207	64	-844	-11%
県央	7,275	267	72	6,482	242	71	-793	-11%
県南	3,030	197	60	2,736	201	63	-294	-10%
五島	840	188	58	631	169	57	-209	-25%
上五島	351	124	47	203	91	43	-148	-42%
壱岐	647	206	61	510	188	61	-137	-21%
対馬	496	129	48	341	108	46	-155	-31%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 42-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	980,151	77	(26)	-88,670	-8%
長崎県	17,860	121	63	15,142	110	63	-2,718	-15%
長崎	7,101	127	65	5,910	111	63	-1,191	-17%
佐世保県北	3,904	112	60	3,429	106	61	-475	-12%
県央	3,798	140	70	3,351	125	68	-447	-12%
県南	1,415	92	53	1,272	93	56	-143	-10%
五島	659	147	73	503	135	72	-156	-24%
上五島	291	103	57	143	64	45	-148	-51%
壱岐	290	92	53	246	91	55	-44	-15%
対馬	402	104	57	288	92	56	-114	-28%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

資_図表 42-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

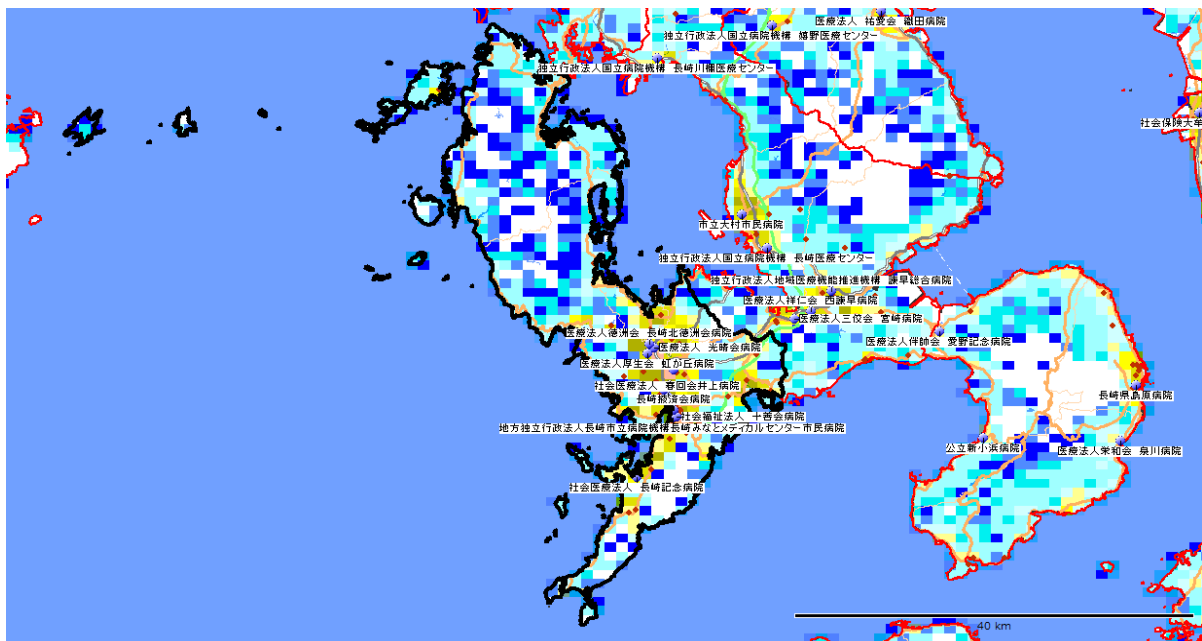
二次医療圏	2004年			2017年			2004→2017増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	334,297	20	(11)	-39,526	-11%
長崎県	8,000	47	58	6,743	31	60	-1,257	-16%
長崎	3,001	50	60	2,575	33	61	-426	-14%
佐世保県北	2,095	50	60	1,805	35	63	-290	-14%
県央	1,460	55	63	1,221	34	62	-239	-16%
県南	991	45	57	856	33	61	-135	-14%
五島	107	15	40	54	7	38	-53	-50%
上五島	56	13	39	56	11	42	0	0%
杵岐	253	52	61	176	32	60	-77	-30%
対馬	37	8	36	0	0	32	-37	-100%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2017年>平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月							

ながさき 42-1. 長崎医療圏

構成市区町村 [長崎市](#) [西海市](#) [長与町](#) [時津町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPG病院



(長崎医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 長崎(長崎市)は、総人口約531千人(2015年)、面積697km²、人口密度は761人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 長崎の総人口は2025年に488千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に412千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の78千人が、2025年にかけて96千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には103千人へと増加する(2025年比+7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 長崎の一人当たり医療費(国保)は436千円(偏差値71)、介護給付費は286千円(偏差値60)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 長崎の一人当たり急性期医療密度指数は1.34、一人当たり慢性期医療密度指数は2.15で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が66(病院医師数63、診療所医師数71)と、総医師数、診療所医師数ともに非常に多く、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。長崎には、年間全身麻酔件数が2000例以上の長崎大学病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の長崎みなとメディカルセンター(Ⅲ群)、長崎原爆病院(Ⅲ群)、500例以上の済生会長崎病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は61と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値71と非常に多く、回復期病床数は偏差値62と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は72で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は72で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 長崎の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、7,264人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4,338床(偏差値46)、高齢者住宅等が2,926床(偏差値47)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6,723人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム40、軽費ホーム49、グループホーム61、サ高住49である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値74と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、1,465人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-23%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(長崎医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

長崎医療圏の総人口は、2005年560,668人が、2015年に530,551人と5%減少し、2025年の人口が488,301人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

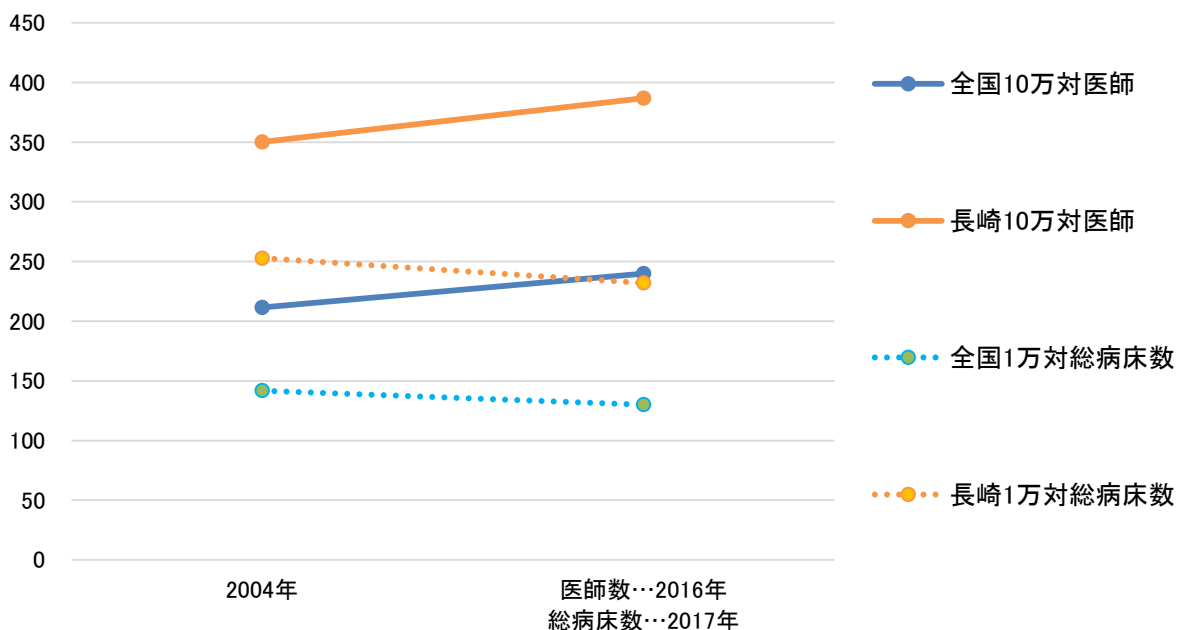
2004年の病院数が62(人口10万人当たり11.1病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2017年に53(人口10万人当たり10病院(全国平均6.6)偏差値57)となり、13年間で9病院が減少した。

2004年の診療所数が676(人口10万人当たり121診療所(全国平均76)偏差値72)であったが、2017年に640(人口10万人当たり121診療所(全国平均80)偏差値72)と、36診療所が減少した。

2004年の総病床数が14,176床(人口1万人当たり253(全国平均142)偏差値70)であったが、2017年に12,315床(人口1万人当たり232(全国平均130)偏差値69)と、1,861床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

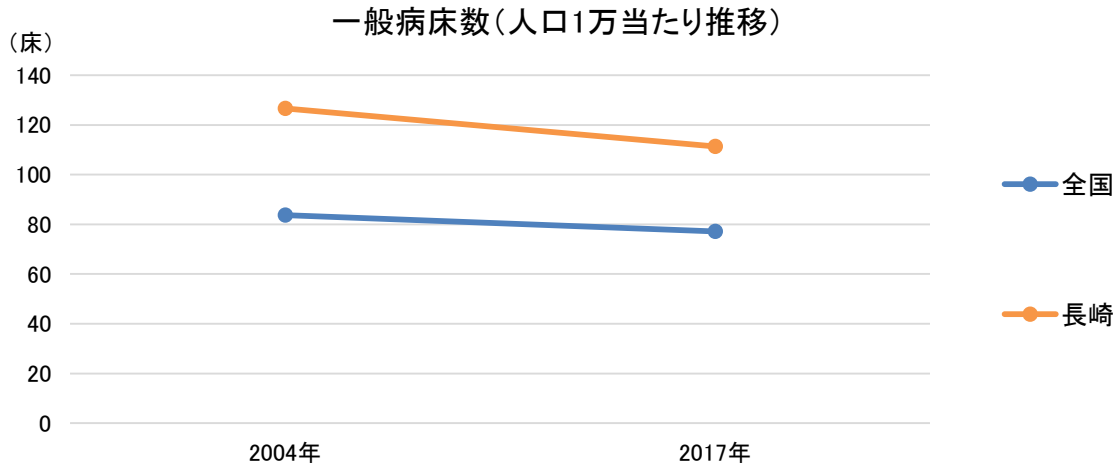
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,964人(人口10万人当たり350人(全国平均212人)偏差値67)であったが、2016年に2,052人(人口10万人当たり387人(全国平均240人)偏差値66)と、88人の増加、率にして4%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



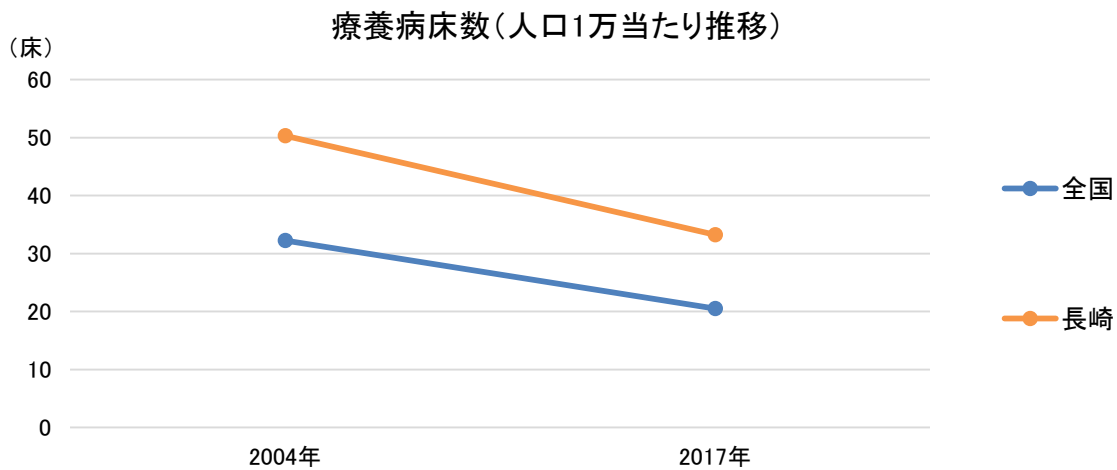
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7,101床(人口1万人当たり127(全国平均84)偏差値65)であったが、2017年に5,910床(人口1万人当たり111(全国平均77)偏差値63)と、1,191床の減少、率にして17%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



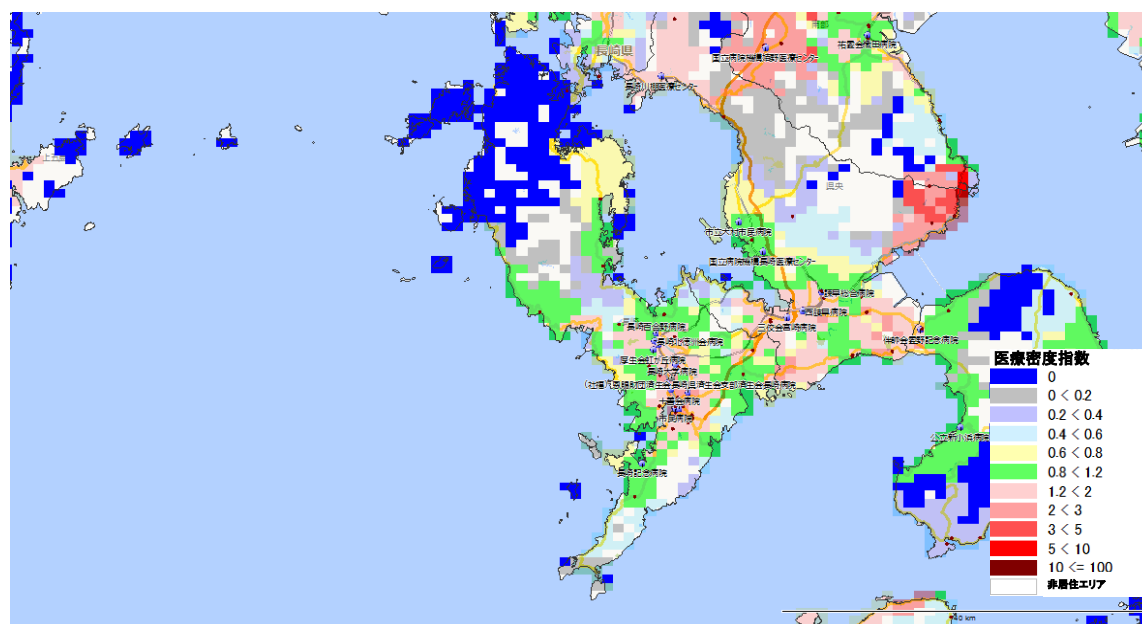
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,001床(75歳以上1,000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2017年に2,575床(75歳以上1,000人当たり33(全国平均20)偏差値61)と、426床の減少、率にして14%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



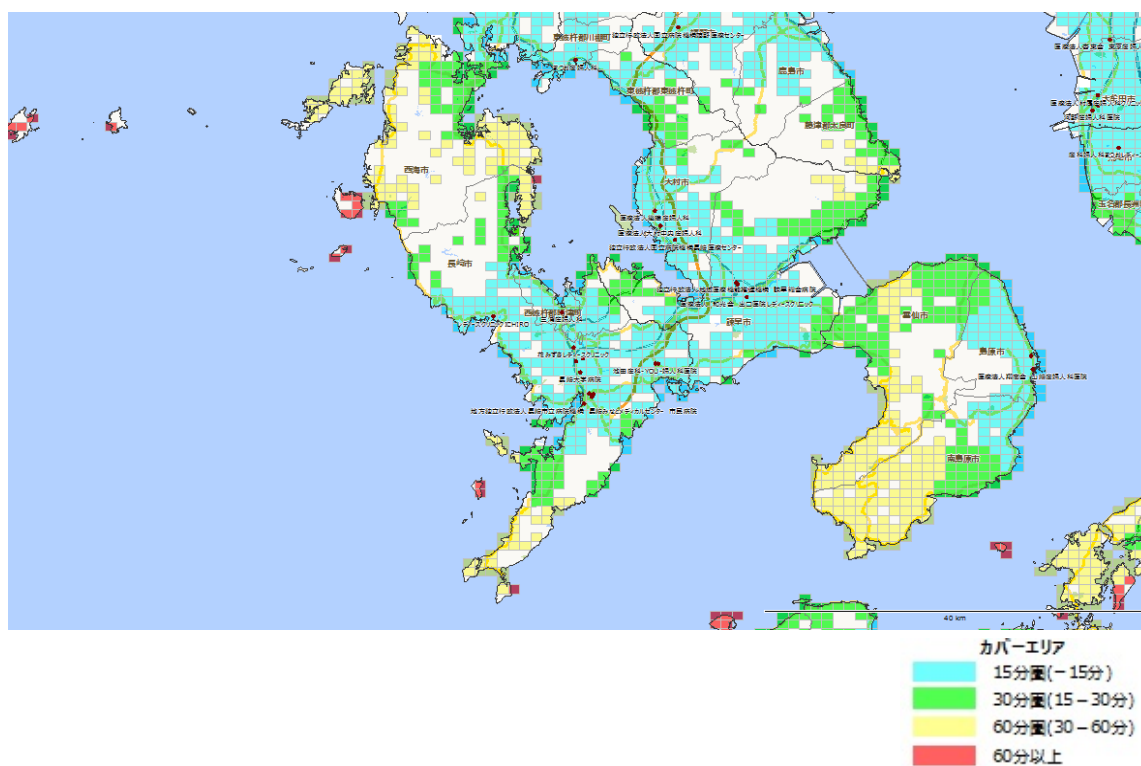
(長崎医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

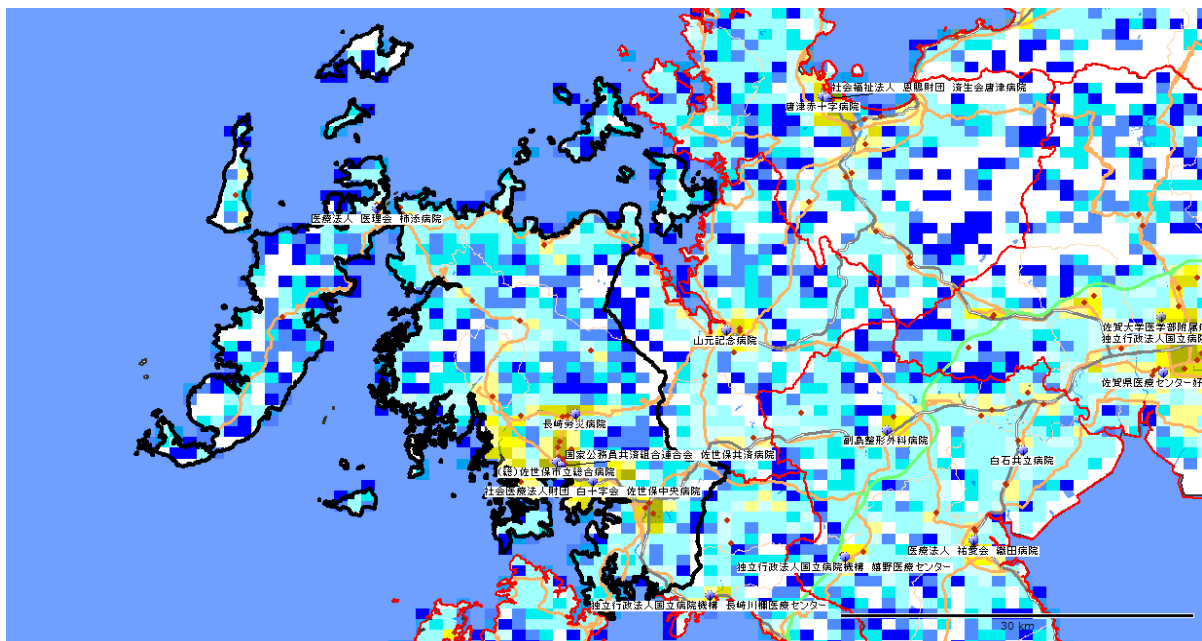


42-2. さ せ ぼ けん ほう 佐世保県北医療圏

構成市区町村 [佐世保市](#) [平戸市](#) [松浦市](#) [佐々町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(佐世保県北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 佐世保県北(佐世保市)は、総人口約324千人(2015年)、面積824km²、人口密度は394人/km²の地方都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 佐世保県北の総人口は2025年に299千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に256千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の51千人が、2025年にかけて59千人へと増加し(2015年比+16%)、2040年には57千人へと減少する(2025年比-3%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 佐世保県北の一人当たり医療費(国保)は392千円(偏差値60)、介護給付費は284千円(偏差値59)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 佐世保県北の一人当たり急性期医療密度指数は1.14、一人当たり慢性期医療密度指数は1.6で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- *医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が49(病院医師数49、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は65と多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は56で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。佐世保県北には、年間全身麻酔件数が2000例以上の佐世保市総合医療センター(Ⅲ群・救命)、1000例以上の佐世保共済病院(Ⅲ群)、長崎労災病院(Ⅲ群)、500例以上の佐世保中央病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は62と療養病床数は多い。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値53とやや多い。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 佐世保県北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,577人(75歳以上1,000人当たりの偏差値65)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が3,351床(偏差値53)、高齢者住宅等が3,226床(偏差値63)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、4,767人(75歳以上1,000人当たりの偏差値63)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設47、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設64、有料老人ホーム49、軽費ホーム83、グループホーム71、サ高住54である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値48と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、464人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。
- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(佐世保県北医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

佐世保県北医療圏の総人口は、2005年348,653人が、2015年に324,294人と7%減少し、2025年の人口が298,565人と予測され、2005年→2025年の間に14%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

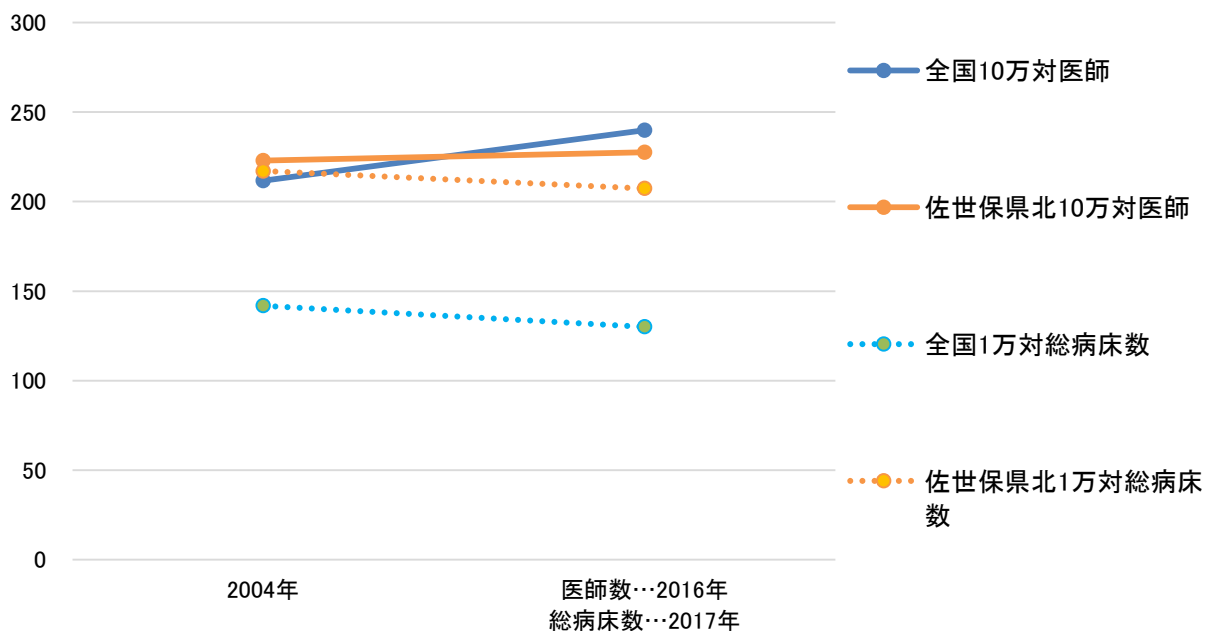
2004年の病院数が41(人口10万人当たり11.8病院(全国平均7.1)偏差値62)であったが、2017年に36(人口10万人当たり11.1病院(全国平均6.6)偏差値60)となり、13年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が303(人口10万人当たり87診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2017年に273(人口10万人当たり84診療所(全国平均80)偏差値52)と、30診療所が減少した。

2004年の総病床数が7,567床(人口1万人当たり217(全国平均142)偏差値63)であったが、2017年に6,723床(人口1万人当たり207(全国平均130)偏差値64)と、844床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

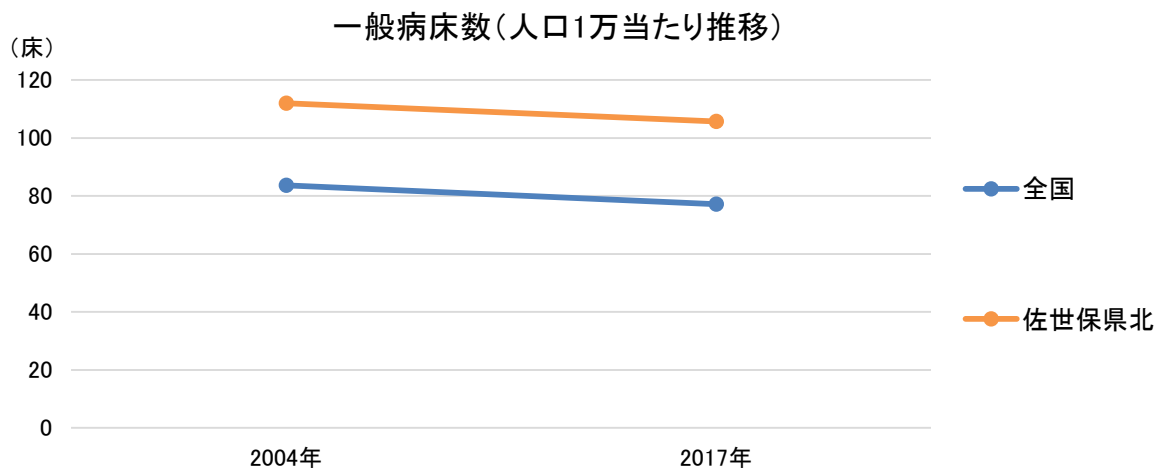
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が777人(人口10万人当たり223人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2016年に738人(人口10万人当たり228人(全国平均240人)偏差値49)と、39人の減少、率にして5%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



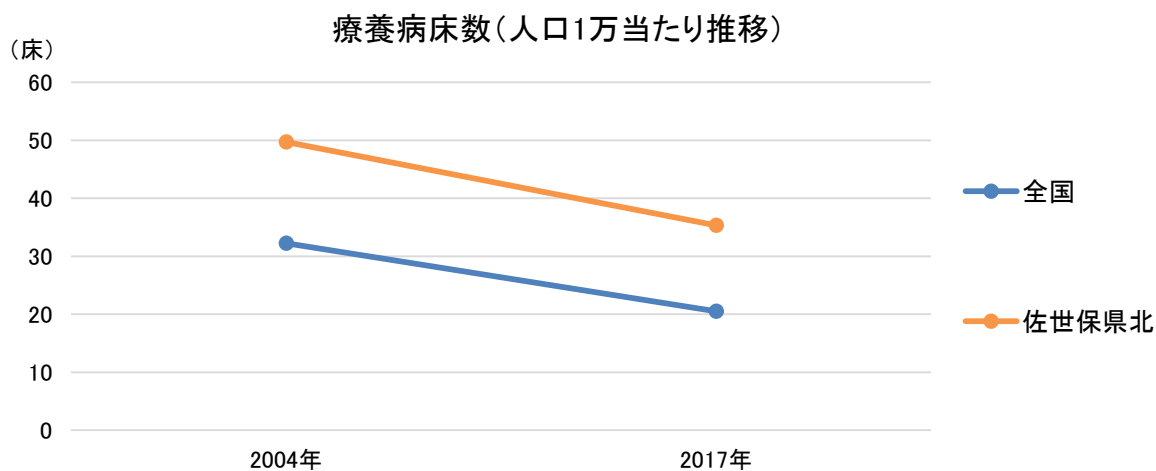
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,904床(人口1万人当たり112(全国平均84)偏差値60)であったが、2017年に3,429床(人口1万人当たり106(全国平均77)偏差値61)と、475床の減少、率にして12%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



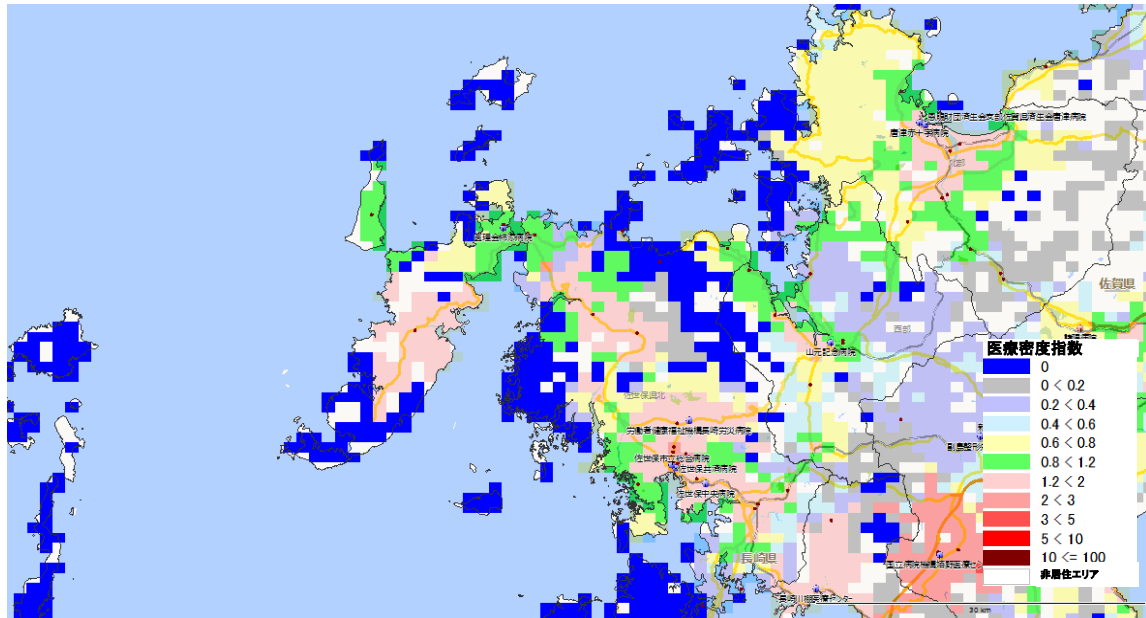
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,095床(75歳以上1,000人当たり50(全国平均32)偏差値60)であったが、2017年に1,805床(75歳以上1,000人当たり35(全国平均20)偏差値63)と、290床の減少、率にして14%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



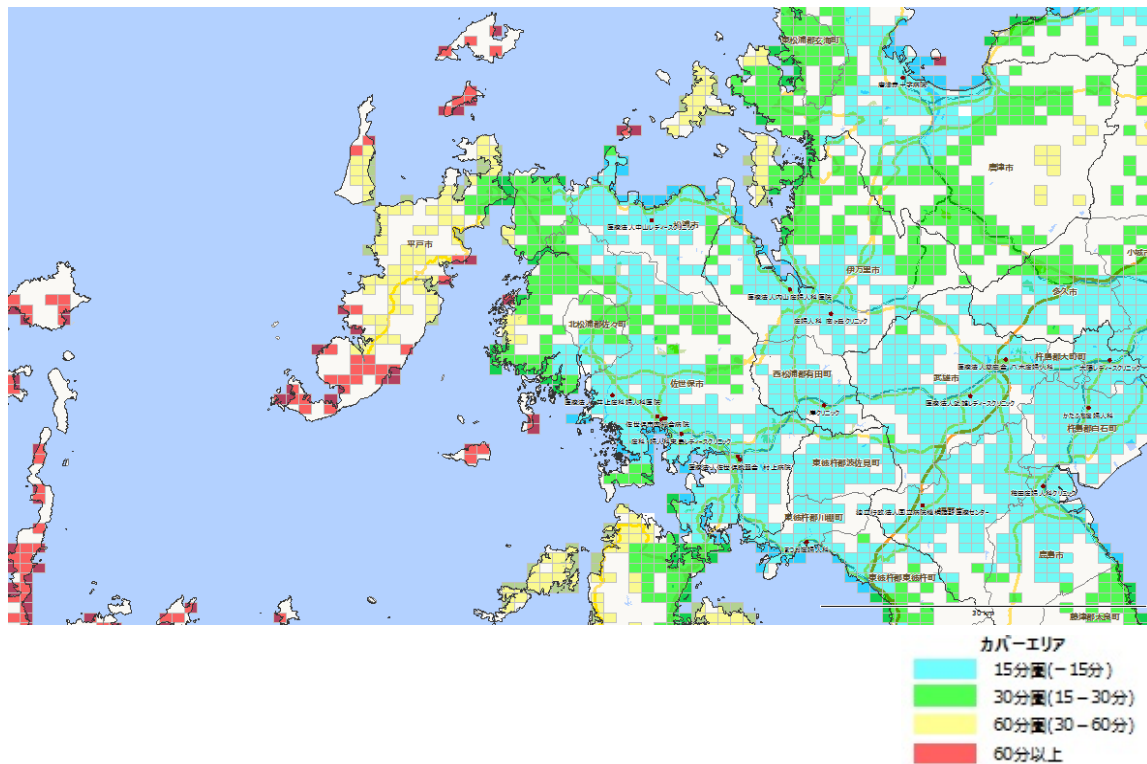
(佐世保県北医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照 (日医総研WP no. 400) 」)

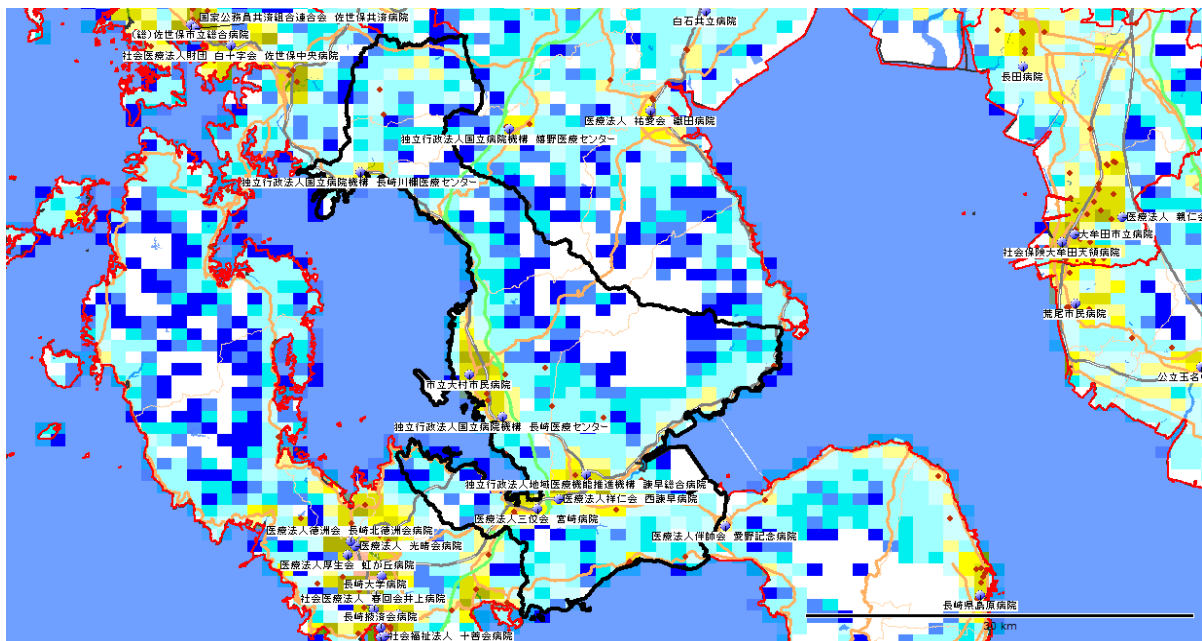


42-3. けんおう 県央医療圏

構成市区町村 [諫早市](#) [大村市](#) [東彼杵町](#) [川棚町](#)
[波佐見町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(県央医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県央(諫早市)は、総人口約268千人(2015年)、面積636km²、人口密度は421人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県央の総人口は2025年に258千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に232千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の35千人が、2025年にかけて45千人へと増加し(2015年比+29%)、2040年には52千人へと増加する(2025年比+16%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県央の一人当たり医療費(国保)は418千円(偏差値67)、介護給付費は242千円(偏差値47)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県央の一人当たり急性期医療密度指数は1.07、一人当たり慢性期医療密度指数は2.2で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が57(病院医師数56、診療所医師数60)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は73と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。県央には、年間全身麻酔件数が2000例以上のNH0長崎医療センター(Ⅱ群・救命)、1000例以上のJCH0諫早総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は57と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は70で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県央の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,209人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,729床(偏差値40)、高齢者住宅等が1,480床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,808人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム42、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム37、軽費ホーム50、グループホーム64、サ高住57である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値76と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値49と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、461人(75歳以上1,000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-47%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(県央医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

県央医療圏の総人口は、2005年272,256人が、2015年に268,091人と2%減少し、2025年の人口が258,378人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

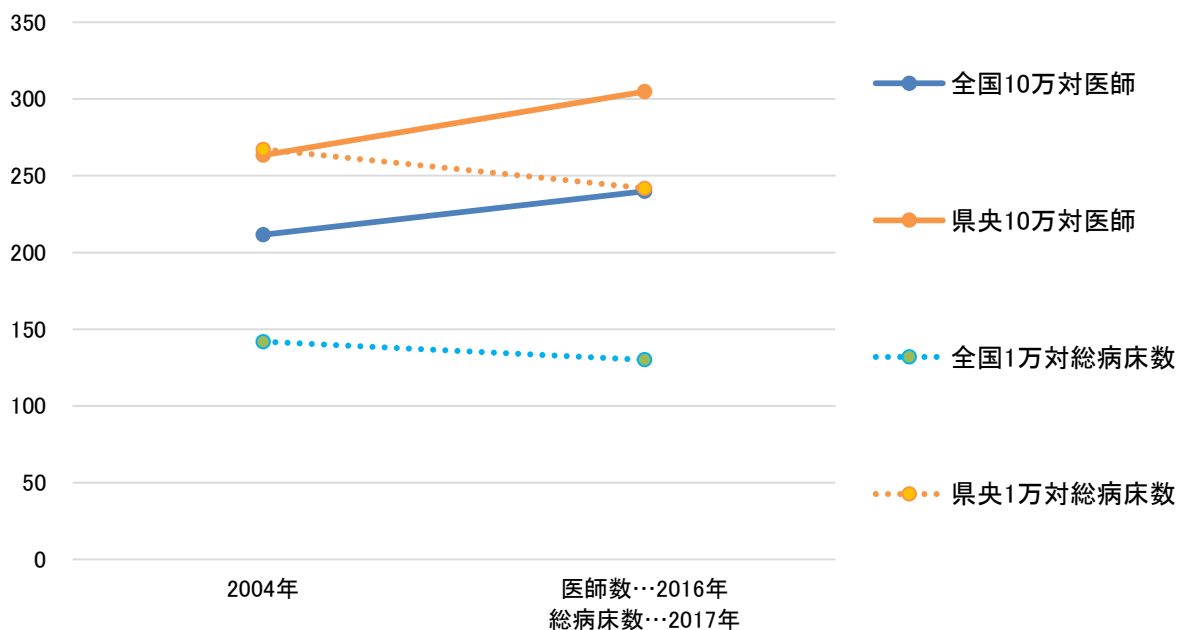
2004年の病院数が31(人口10万人当たり11.4病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2017年に32(人口10万人当たり11.9病院(全国平均6.6)偏差値62)となり、13年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が251(人口10万人当たり92診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2017年に249(人口10万人当たり93診療所(全国平均80)偏差値57)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が7,275床(人口1万人当たり267(全国平均142)偏差値72)であったが、2017年に6,482床(人口1万人当たり242(全国平均130)偏差値71)と、793床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

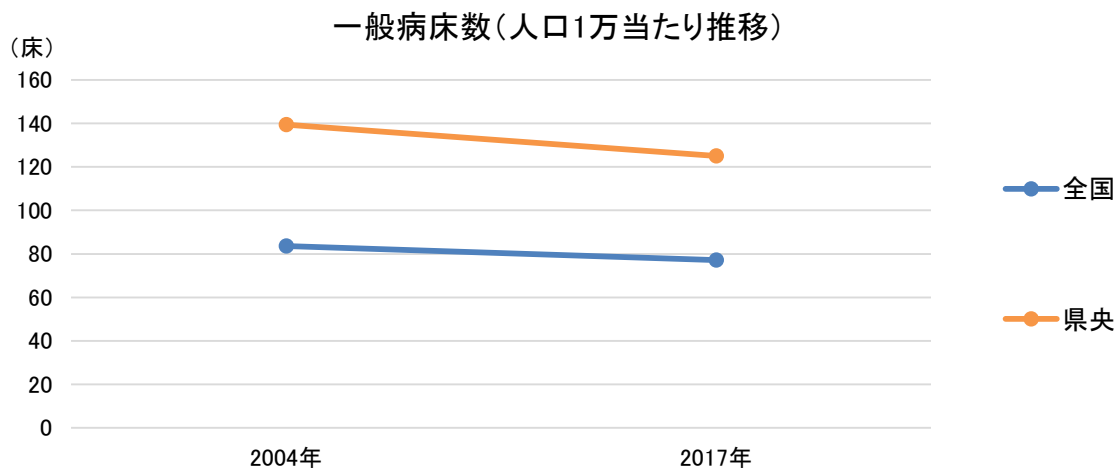
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が717人(人口10万人当たり263人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2016年に817人(人口10万人当たり305人(全国平均240人)偏差値57)と、100人の増加、率にして14%の増加(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



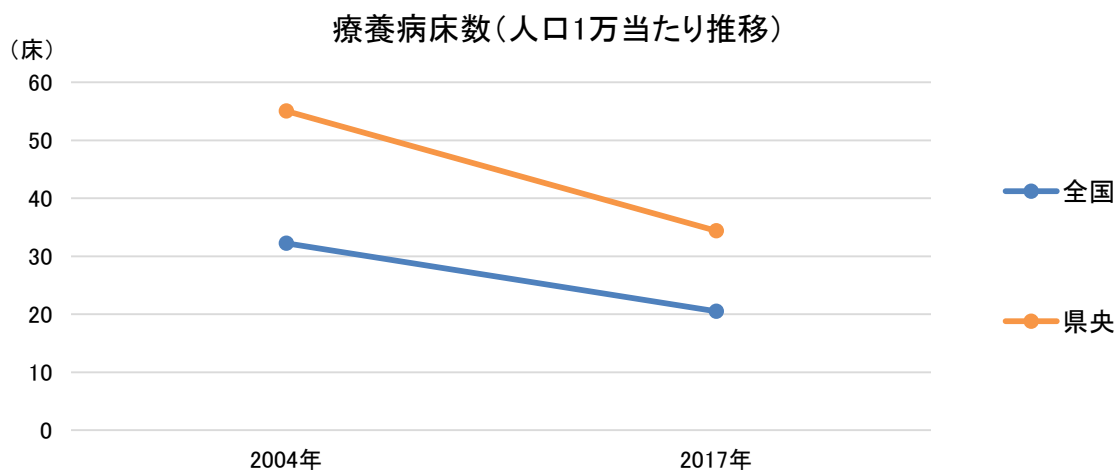
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3,798床(人口1万人当たり140(全国平均84)偏差値70)であったが、2017年に3,351床(人口1万人当たり125(全国平均77)偏差値68)と、447床の減少、率にして12%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



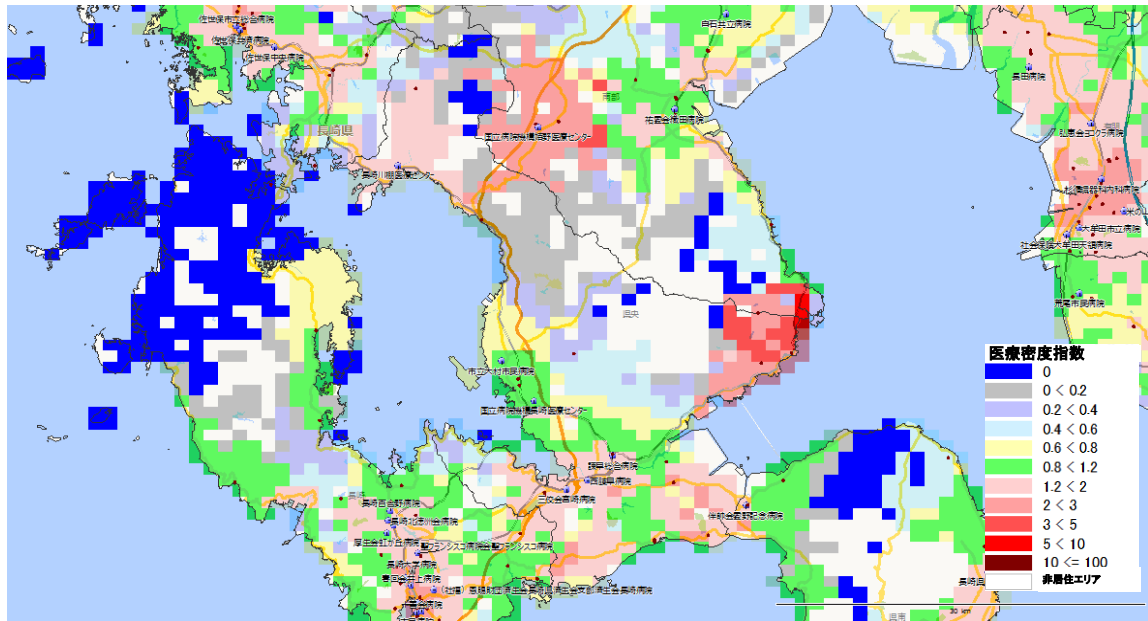
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1,460床(75歳以上1,000人当たり55(全国平均32)偏差値63)であったが、2017年に1,221床(75歳以上1,000人当たり34(全国平均20)偏差値62)と、239床の減少、率にして16%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



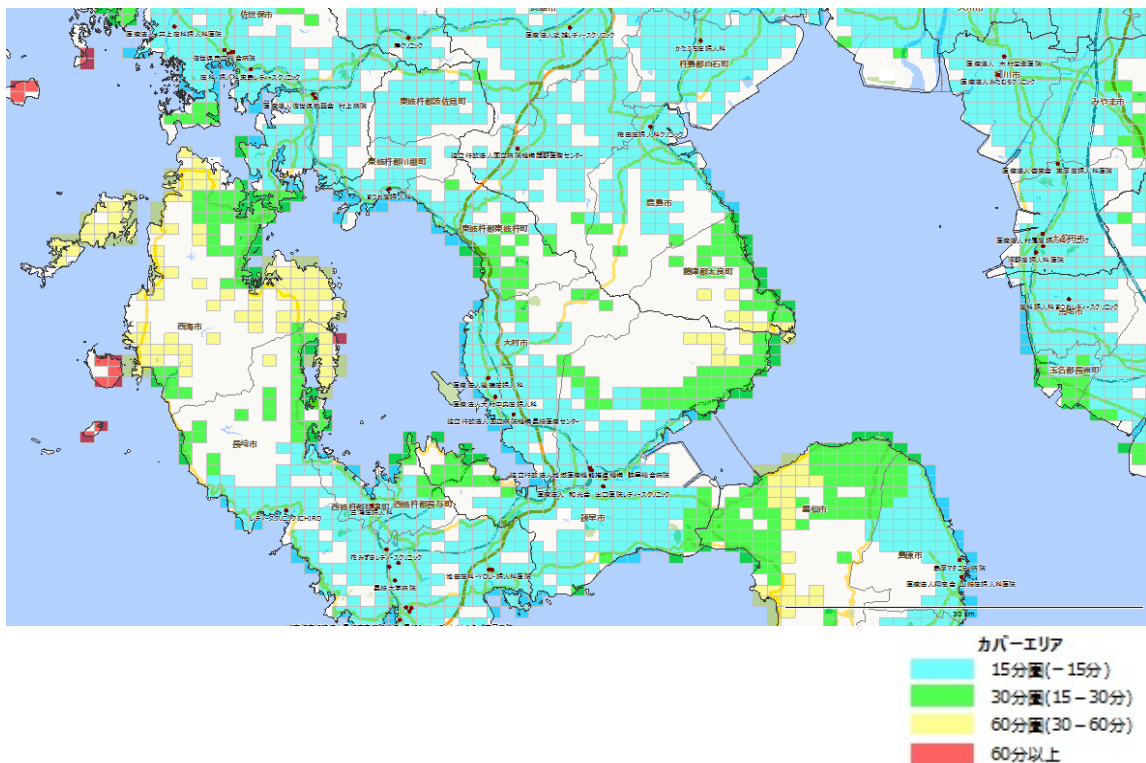
(県央医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

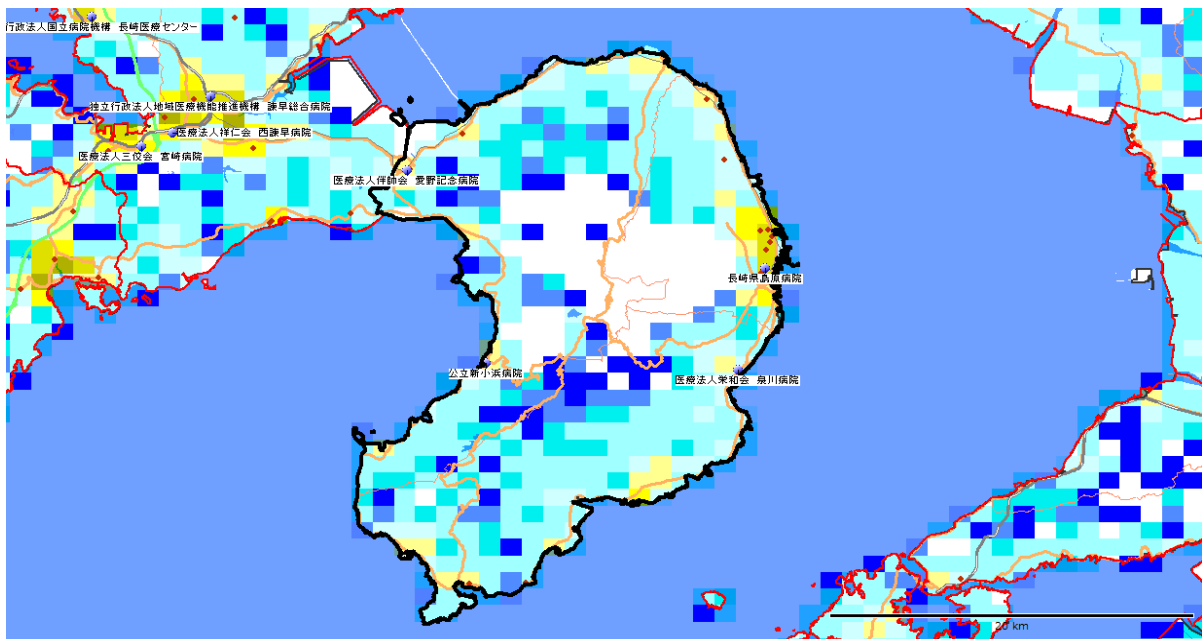


42-4. けんなん 県南医療圏

構成市区町村 [島原市](#) [雲仙市](#) [南島原市](#)

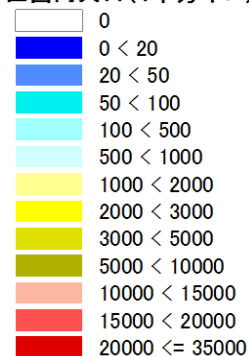
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(県南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 県南(島原市)は、総人口約136千人(2015年)、面積467km²、人口密度は291人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 県南の総人口は2025年に118千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に90千人へと減少する(2025年比-24%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の26千人が、2025年にかけて27千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年には28千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 県南の一人当たり医療費(国保)は368千円(偏差値55)、介護給付費は322千円(偏差値70)であり、医療費はやや高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 県南の一人当たり急性期医療密度指数は0.55、一人当たり慢性期医療密度指数は0.66で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が43(病院医師数42、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は60と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。県南には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は65と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値69と非常に多く、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 県南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,169人(75歳以上1,000人当たりの偏差値61)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,598床(偏差値50)、高齢者住宅等が1,571床(偏差値62)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,587人(75歳以上1,000人当たりの偏差値69)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設56、有料老人ホーム41、軽費ホーム67、グループホーム94、サ高住48である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値50と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値65と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、156人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+21%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(県南医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

県南医療圏の総人口は、2005年154,088人が、2015年に136,086人と12%減少し、2025年の人口が117,762人と予測され、2005年→2025年の間に24%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

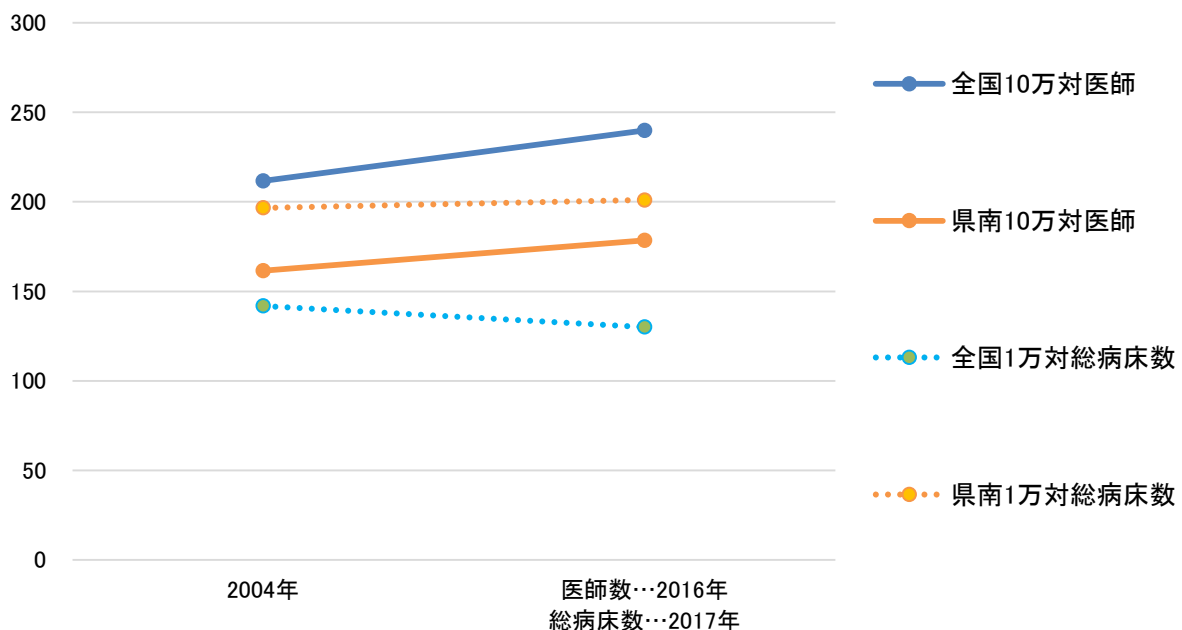
2004年の病院数が17(人口10万人当たり11病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2017年に17(人口10万人当たり12.5病院(全国平均6.6)偏差値63)となり、13年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が105(人口10万人当たり68診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2017年に105(人口10万人当たり77診療所(全国平均80)偏差値49)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が3,030床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2017年に2,736床(人口1万人当たり201(全国平均130)偏差値63)と、294床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

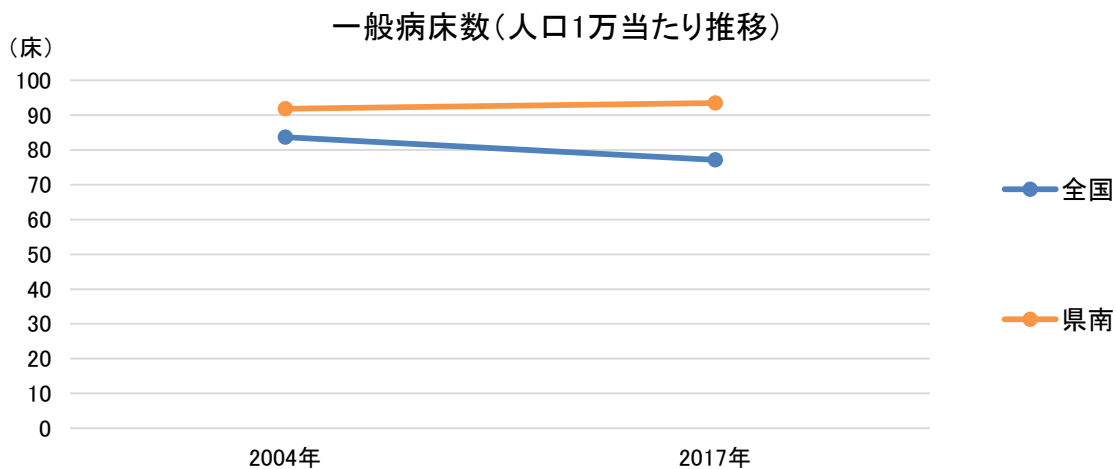
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が249人(人口10万人当たり162人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2016年に243人(人口10万人当たり179人(全国平均240人)偏差値43)と、6人の減少、率にして2%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



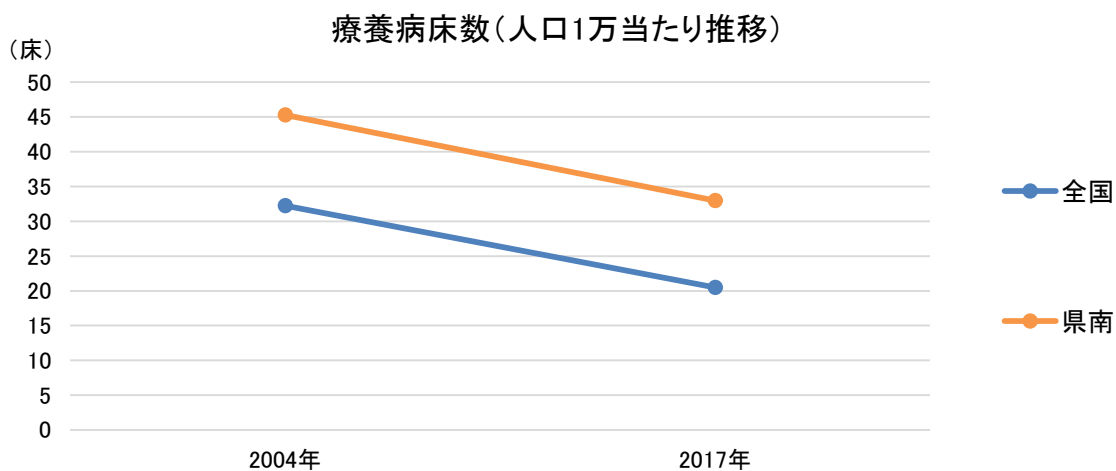
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,415床(人口1万人当たり92(全国平均84)偏差値53)であったが、2017年に1,272床(人口1万人当たり93(全国平均77)偏差値56)と、143床の減少、率にして10%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



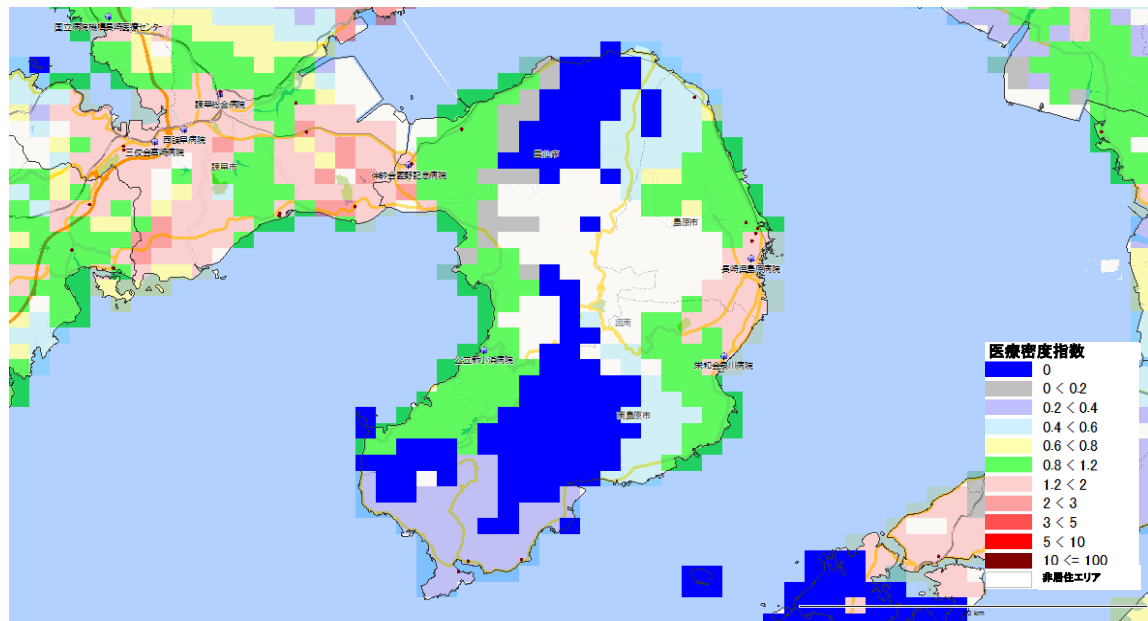
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が991床(75歳以上1,000人当たり45(全国平均32)偏差値57)であったが、2017年に856床(75歳以上1,000人当たり33(全国平均20)偏差値61)と、135床の減少、率にして14%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



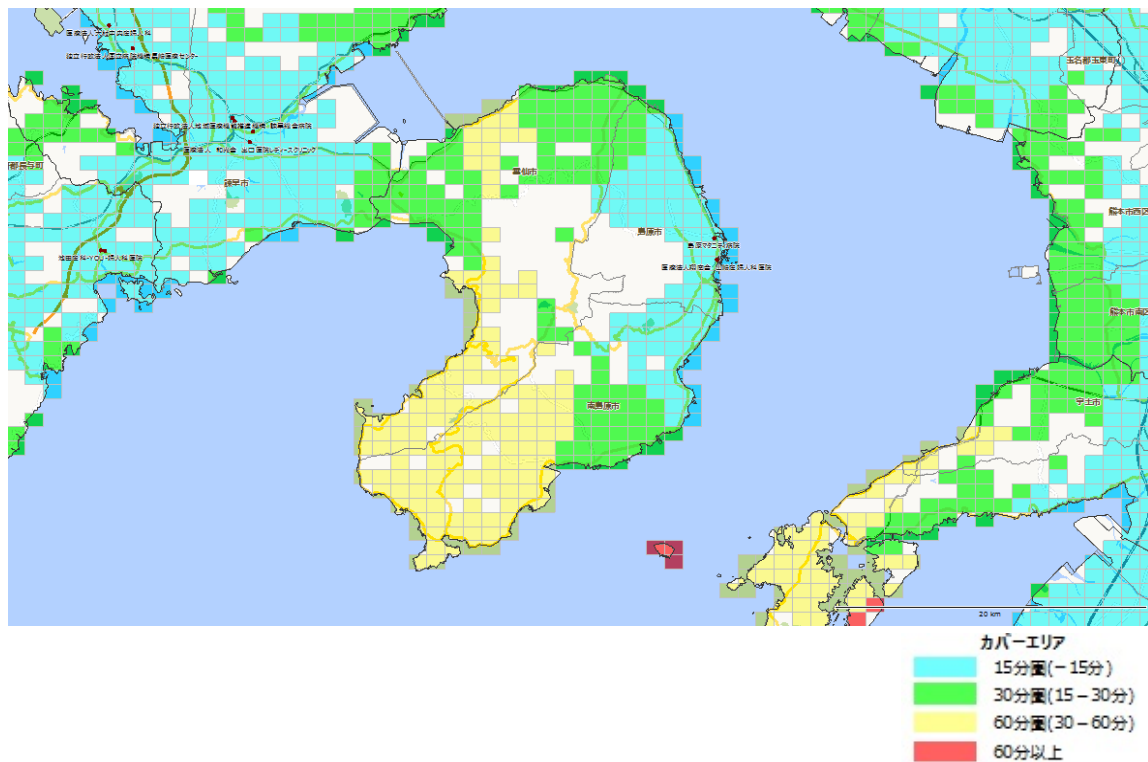
(県南医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

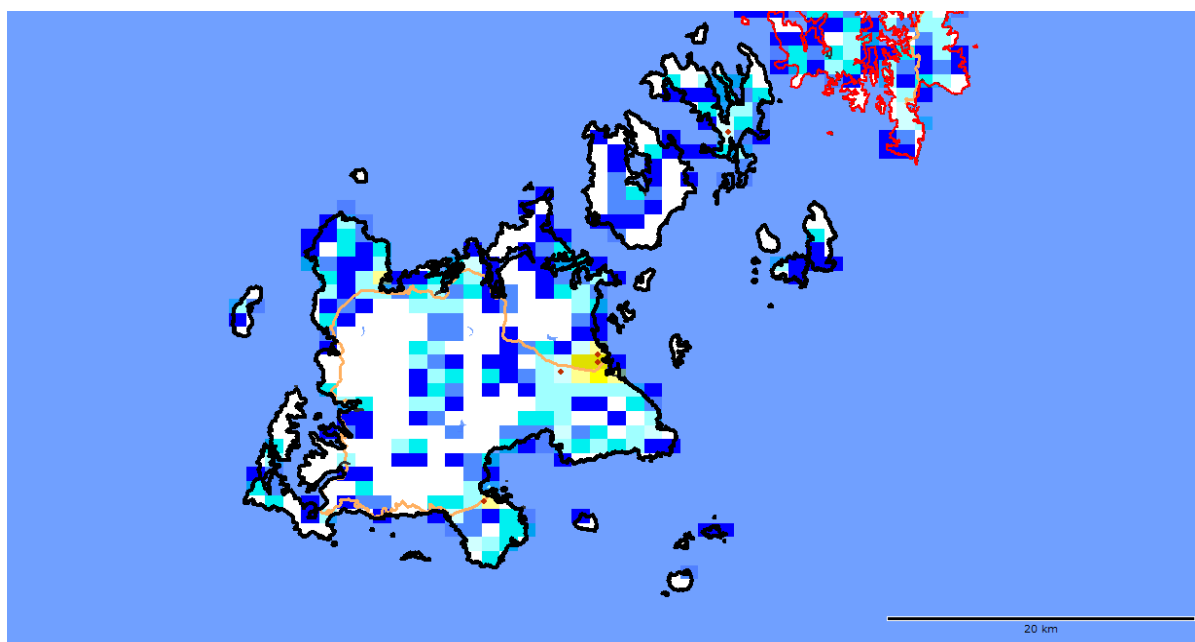


42-5. ごとう 五島医療圏

構成市区町村 [五島市](#)

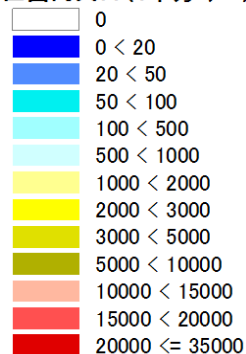
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS
Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(五島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 五島(五島市)は、総人口約37千人(2015年)、面積420km²、人口密度は89人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 五島の総人口は2025年に30千人へと減少し(2015年比-19%)、2040年に21千人へと減少する(2025年比-30%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の8千人が、2025年にかけて8千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には8千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 五島の一人当たり医療費(国保)は352千円(偏差値51)、介護給付費は335千円(偏差値74)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 五島の一人当たり急性期医療密度指数は1.04、一人当たり慢性期医療密度指数は1.06で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が44(病院医師数44、診療所医師数46)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床は多い。全身麻酔数は0件である。五島には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値39と少なく、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は66で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 五島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、928人(75歳以上1,000人当たりの偏差値57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が546床(偏差値55)、高齢者住宅等が382床(偏差値53)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、821人(75歳以上1,000人当たりの偏差値71)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム100、サ高住39である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値53とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、138人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は+25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(五島医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

五島医療圏の総人口は、2005年44,765人が、2015年に37,327人と17%減少し、2025年の人口が30,483人と予測され、2005年→2025年の間に32%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に6%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

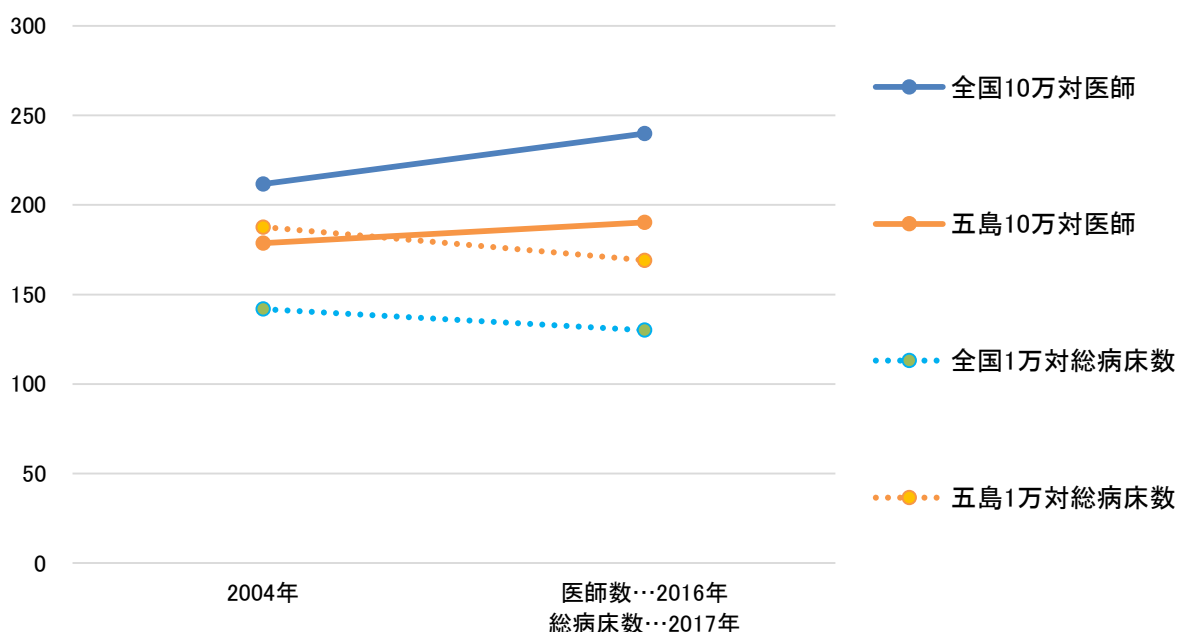
2004年の病院数が5(人口10万人当たり11.2病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2017年に4(人口10万人当たり10.7病院(全国平均6.6)偏差値59)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が45(人口10万人当たり101診療所(全国平均76)偏差値62)であったが、2017年に41(人口10万人当たり110診療所(全国平均80)偏差値66)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が840床(人口1万人当たり188(全国平均142)偏差値58)であったが、2017年に631床(人口1万人当たり169(全国平均130)偏差値57)と、209床の減少、率にして25%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

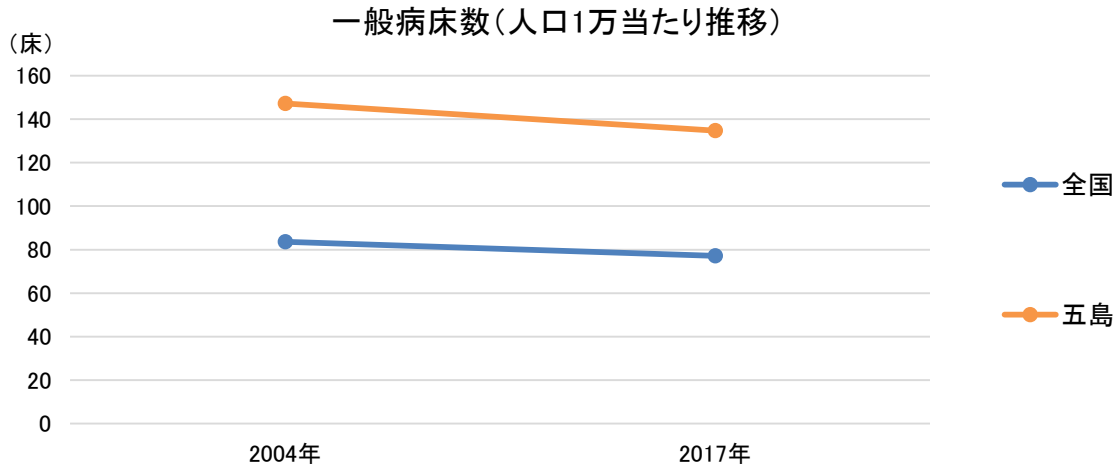
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が80人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2016年に71人(人口10万人当たり190人(全国平均240人)偏差値44)と、9人の減少、率にして11%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



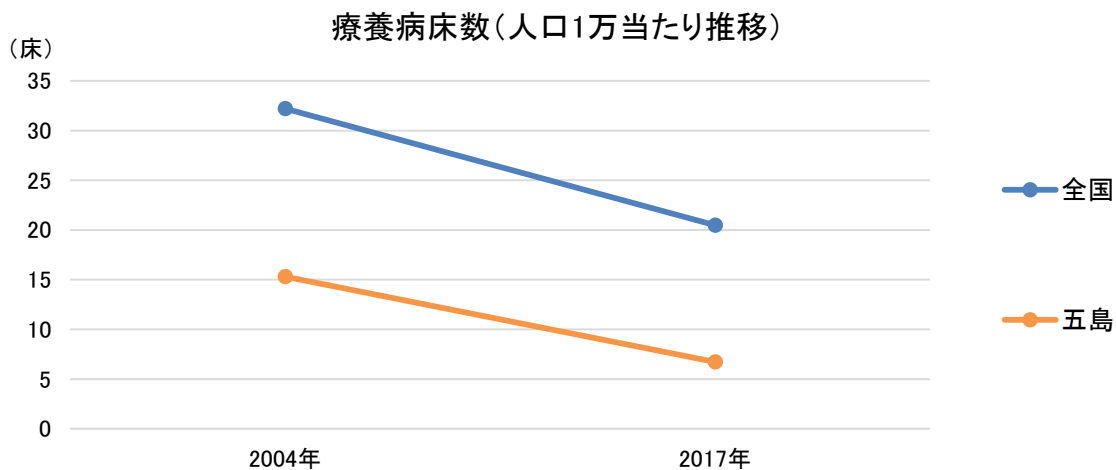
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が659床(人口1万人当たり147(全国平均84)偏差値73)であったが、2017年に503床(人口1万人当たり135(全国平均77)偏差値72)と、156床の減少、率にして24%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



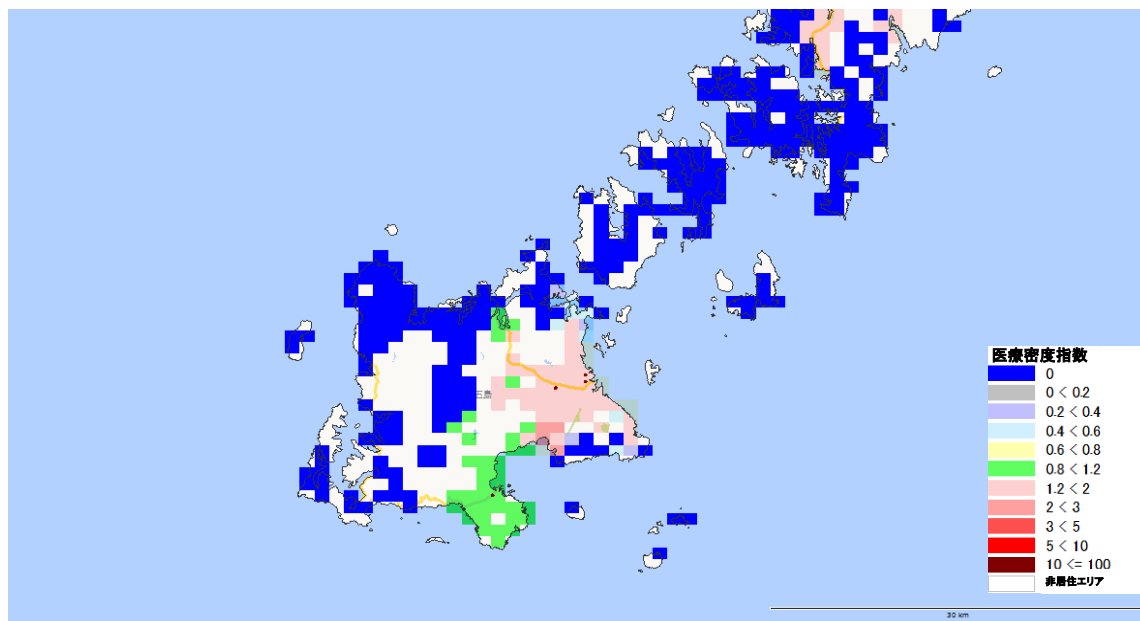
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が107床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2017年に54床(75歳以上1,000人当たり7(全国平均20)偏差値38)と、53床の減少、率にして50%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



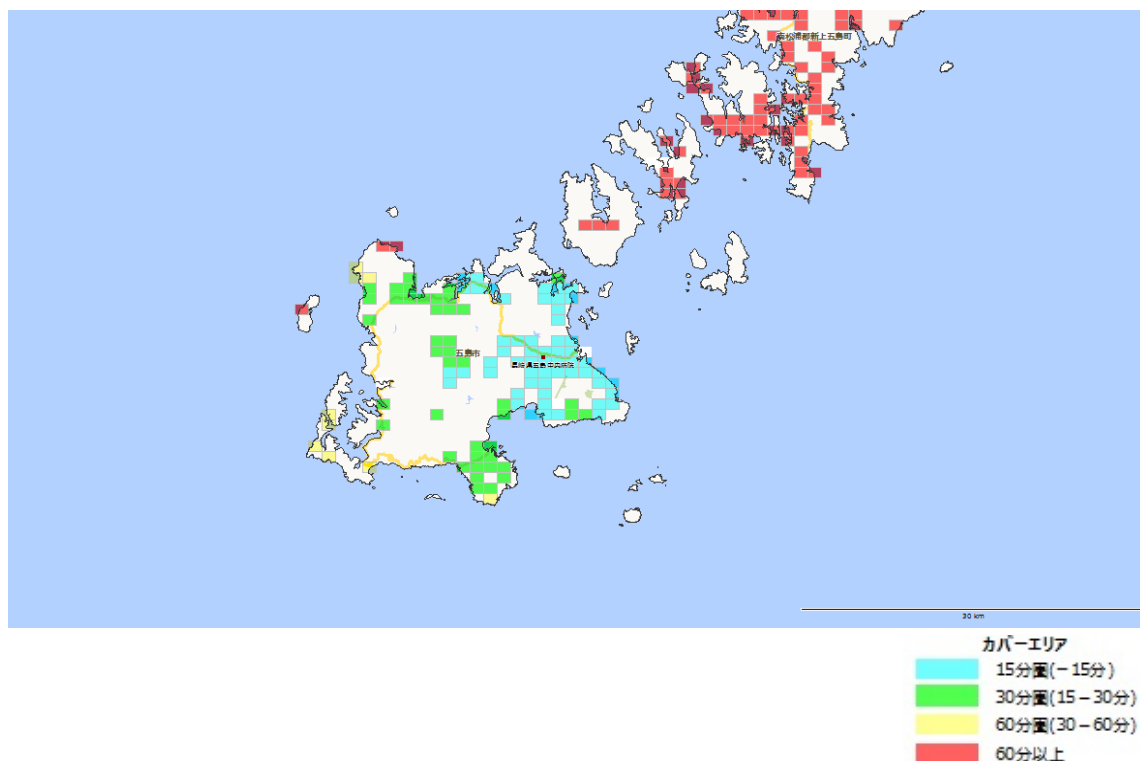
(五島医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-5-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

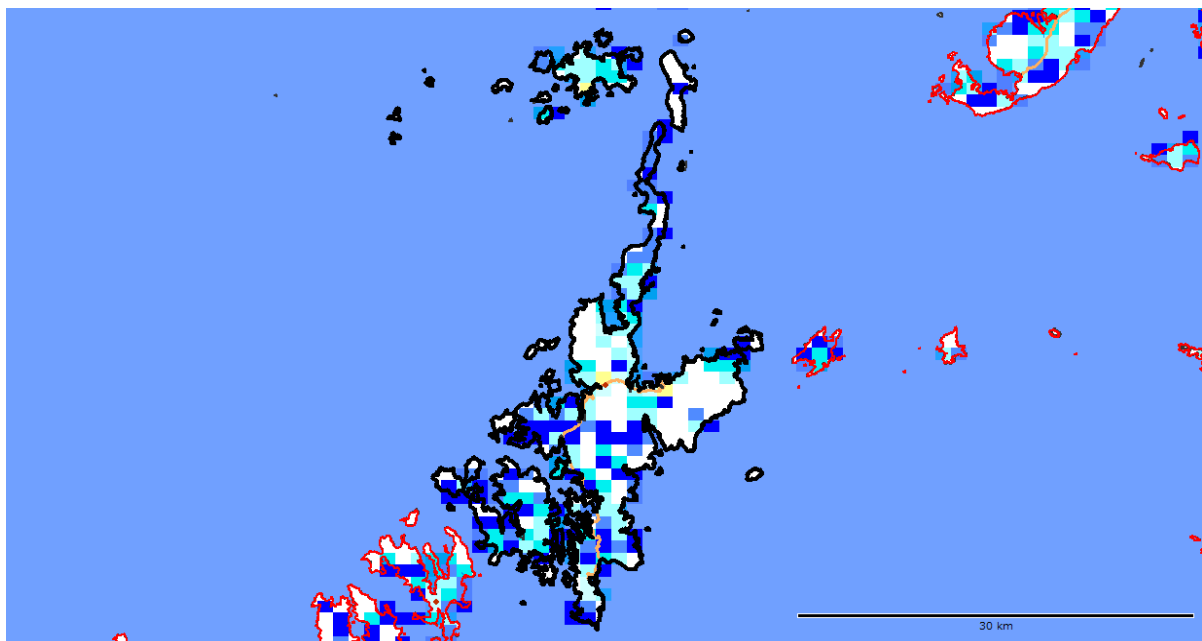


42-6. かみごとう 上五島医療圏

構成市区町村 [小値賀町](#) [新上五島町](#)

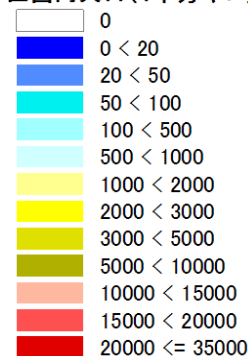
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I群

● II群

● III群

● 一般病院

(上五島医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 上五島(北松浦郡小値賀町、南松浦郡新上五島町)は、総人口約22千人(2015年)、面積239km²、人口密度は93人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 上五島の総人口は2025年に17千人へと減少し(2015年比-23%)、2040年に10千人へと減少する(2025年比-41%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の5千人が、2025年にかけて5千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には4千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 上五島の一人当たり医療費(国保)は378千円(偏差値57)、介護給付費は325千円(偏差値71)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 上五島の一人当たり急性期医療密度指数は0.51、一人当たり慢性期医療密度指数は2.75で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が38(病院医師数40、診療所医師数33)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数は0件である。上五島には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 精神病床数は0である。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は60で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 上五島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、523人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が395床(偏差値65)、高齢者住宅等が128床(偏差値39)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、572人(75歳以上1,000人当たりの偏差値82)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設66、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム66、サ高住35である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院は偏差値67と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、38人(75歳以上1,000人当たりの偏差値39)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+26%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(上五島医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

上五島医療圏の総人口は、2005年28,307人が、2015年に22,278人と21%減少し、2025年の人口が16,930人と予測され、2005年→2025年の間に40%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に9%減少し、2015年から2025年にかけて13%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

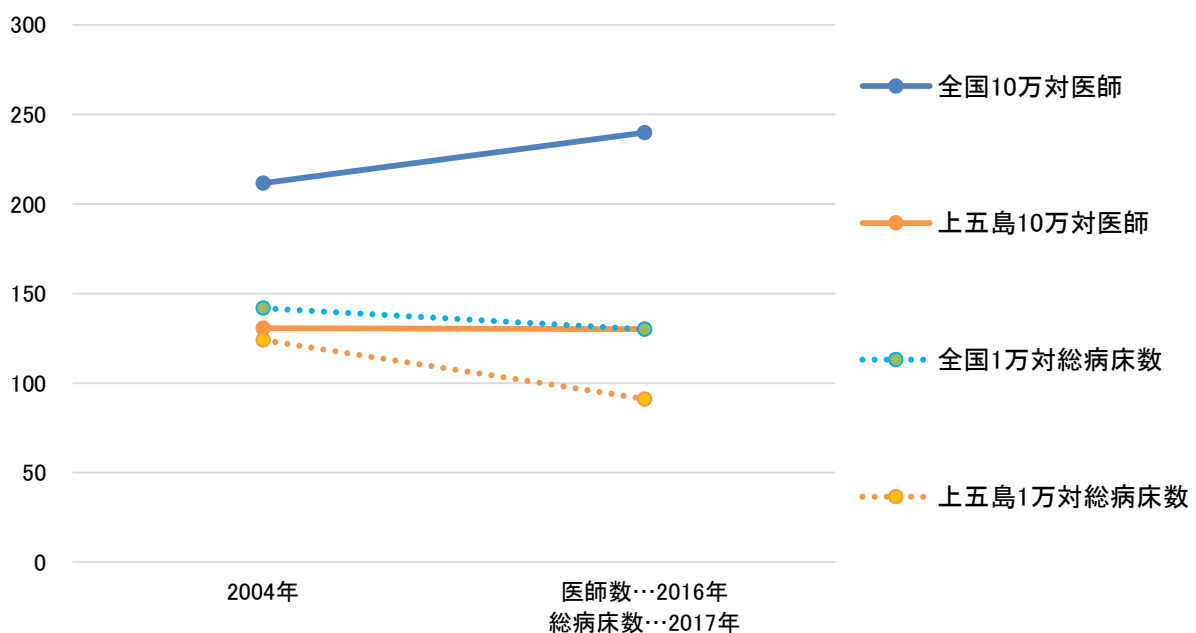
2004年の病院数が3(人口10万人当たり10.6病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2017年に1(人口10万人当たり4.5病院(全国平均6.6)偏差値45)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が22(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2017年に22(人口10万人当たり99診療所(全国平均80)偏差値60)と、増減がなかった。

2004年の総病床数が351床(人口1万人当たり124(全国平均142)偏差値47)であったが、2017年に203床(人口1万人当たり91(全国平均130)偏差値43)と、148床の減少、率にして42%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

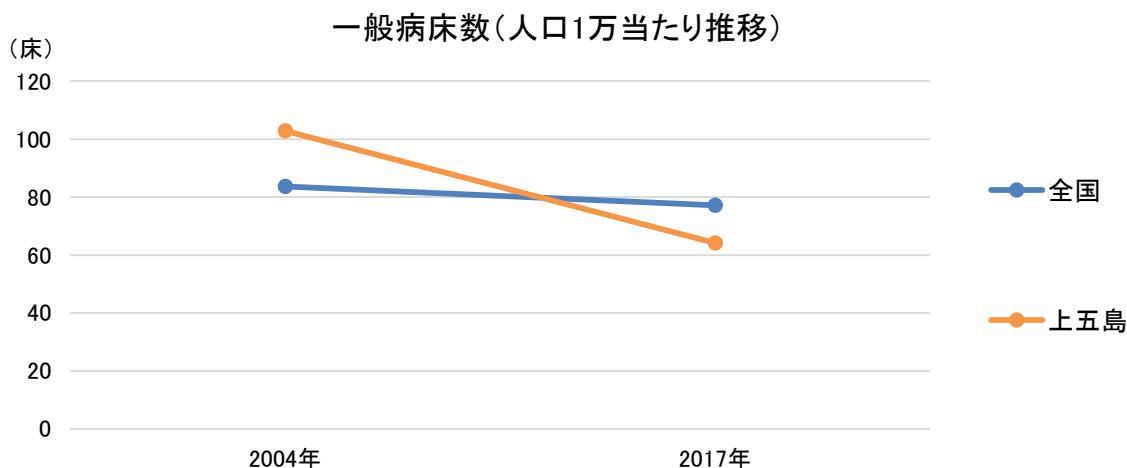
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が37人(人口10万人当たり131人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2016年に29人(人口10万人当たり130人(全国平均240人)偏差値38)と、8人の減少、率にして22%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移



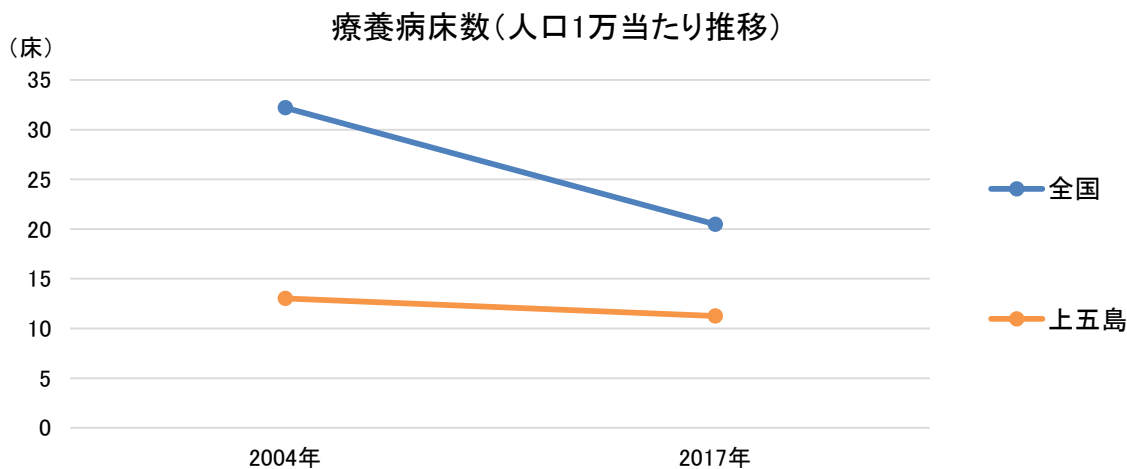
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が291床(人口1万人当たり103(全国平均84)偏差値57)であったが、2017年に143床(人口1万人当たり64(全国平均77)偏差値45)と、148床の減少、率にして51%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



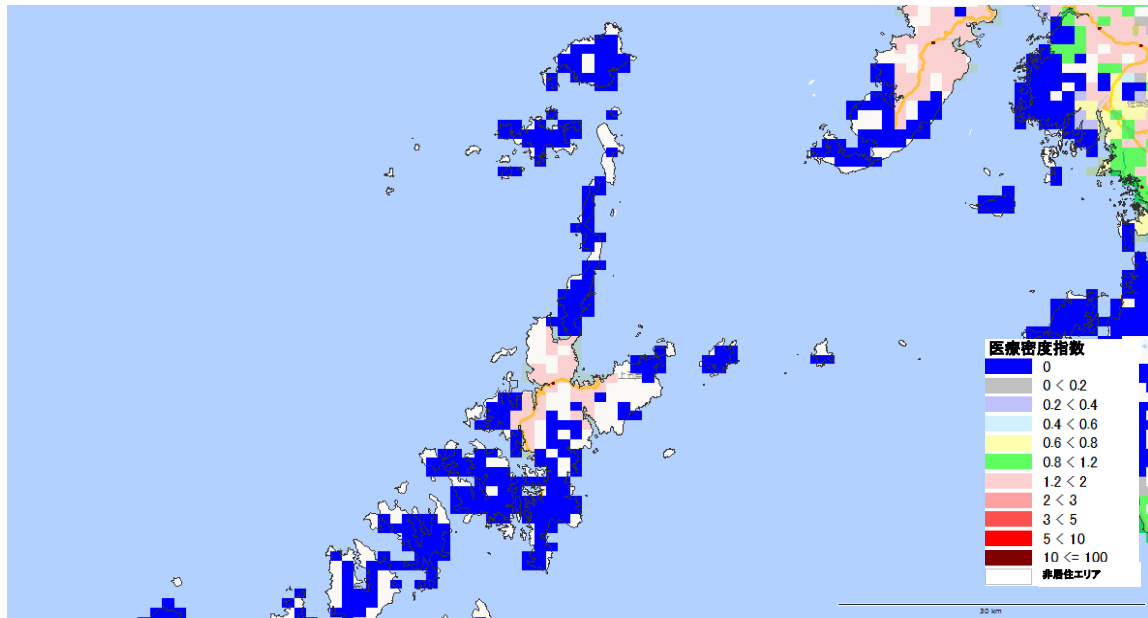
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が56床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2017年に56床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均20)偏差値42)と、増減がなかった(全国平均9%の減少)。



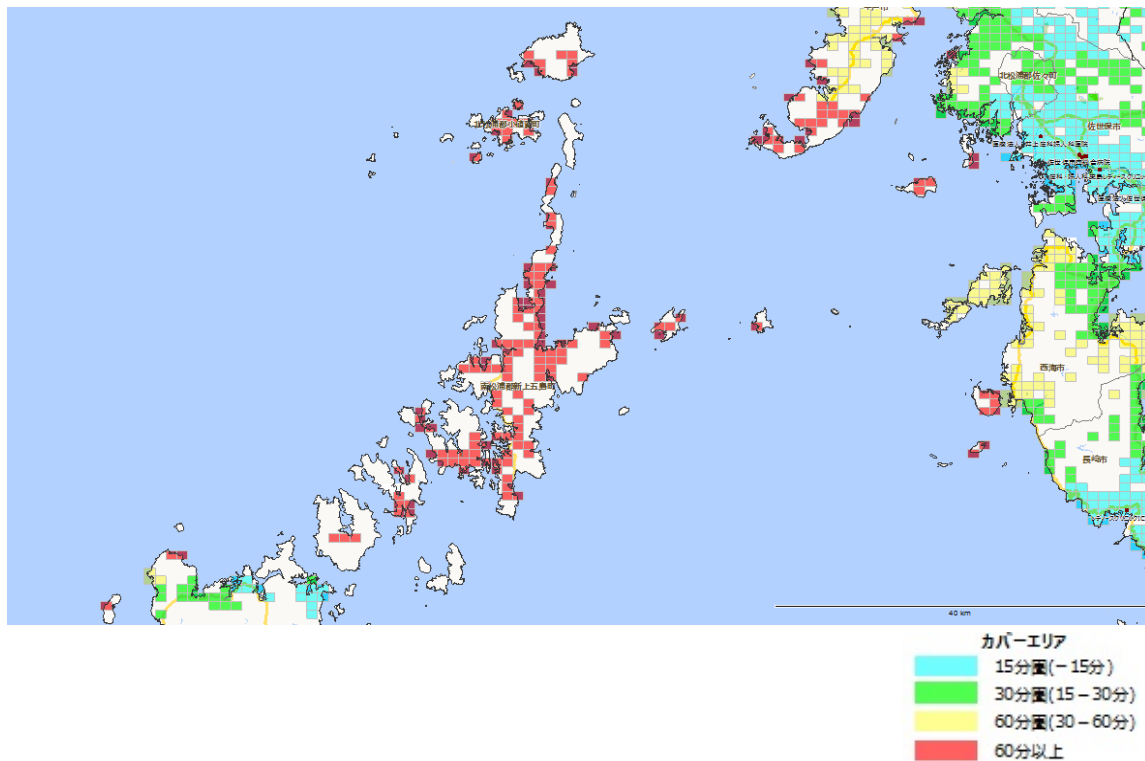
(上五島医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

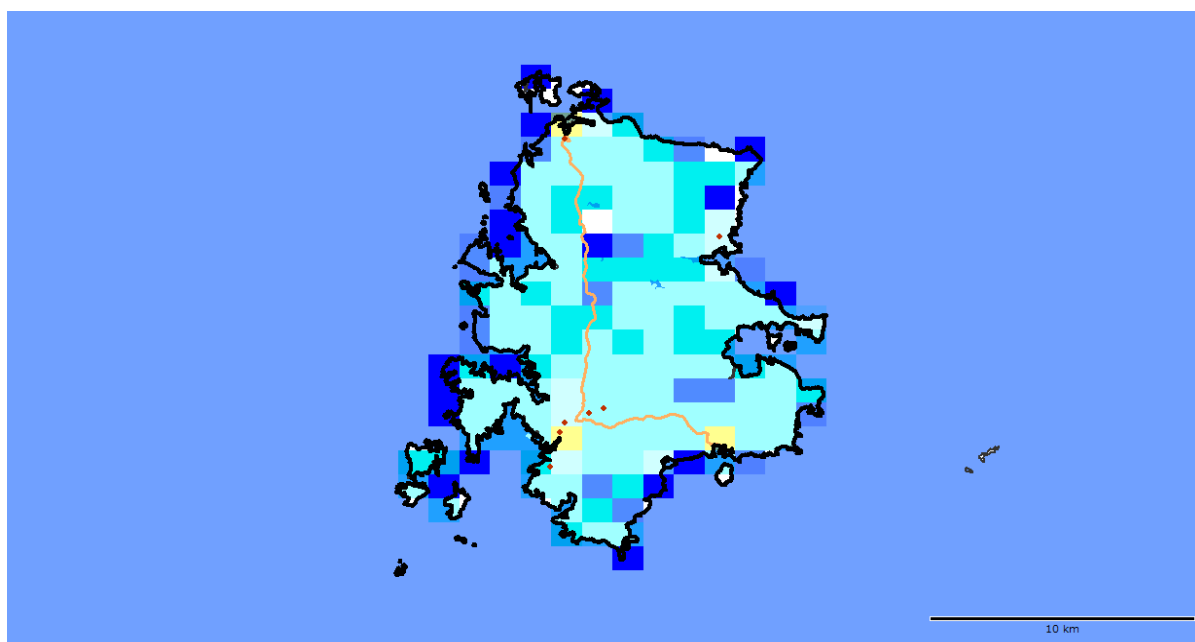


42-7. い き 壱岐医療圏

構成市区町村 [壱岐市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(壱岐医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 壱岐(壱岐市)は、総人口約27千人(2015年)、面積139km²、人口密度は194人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 壱岐の総人口は2025年に23千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に16千人へと減少する(2025年比-30%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の5千人が、2025年にかけて5千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には5千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 壱岐の一人当たり医療費(国保)は415千円(偏差値66)、介護給付費は280千円(偏差値58)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 壱岐の一人当たり急性期医療密度指数は0.81、一人当たり慢性期医療密度指数は0.82で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41(病院医師数42、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。壱岐には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は69と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は43で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 壱岐の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、438人(75歳以上1,000人当たりの偏差値36)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が400床(偏差値60)、高齢者住宅等が38床(偏差値27)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、441人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設50、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム34、サ高住35である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値64と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、88人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は-8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(壱岐医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

壱岐医療圏の総人口は、2005年31,414人が、2015年に27,103人と14%減少し、2025年の人口が22,644人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて9%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

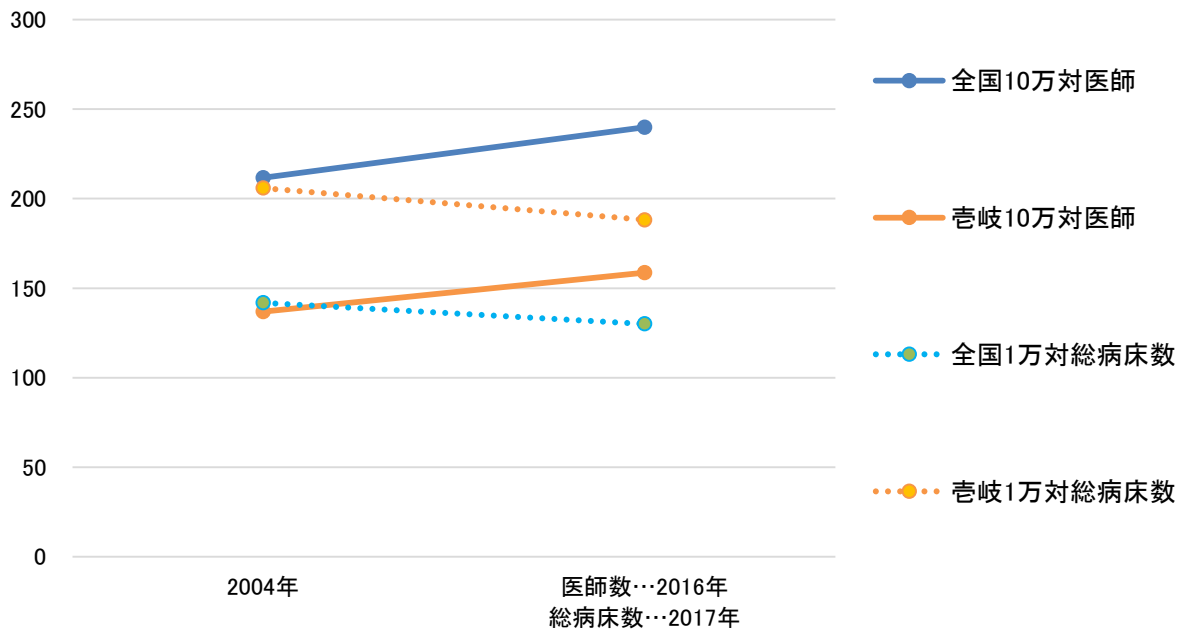
2004年の病院数が7(人口10万人当たり22.3病院(全国平均7.1)偏差値89)であったが、2017年に5(人口10万人当たり18.4病院(全国平均6.6)偏差値76)となり、13年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が15(人口10万人当たり48診療所(全国平均76)偏差値36)であったが、2017年に18(人口10万人当たり66診療所(全国平均80)偏差値43)と、3診療所が増加した。

2004年の総病床数が647床(人口1万人当たり206(全国平均142)偏差値61)であったが、2017年に510床(人口1万人当たり188(全国平均130)偏差値61)と、137床の減少、率にして21%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

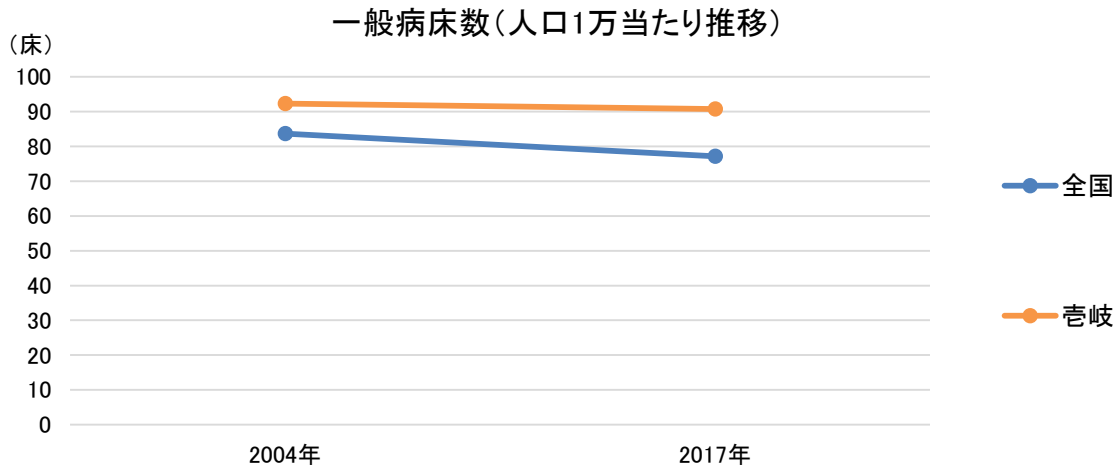
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が43人(人口10万人当たり137人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2016年に43人(人口10万人当たり159人(全国平均240人)偏差値41)と、増減がなかった(全国平均15%の増加)。

人口当たり医師数・総病床数の推移



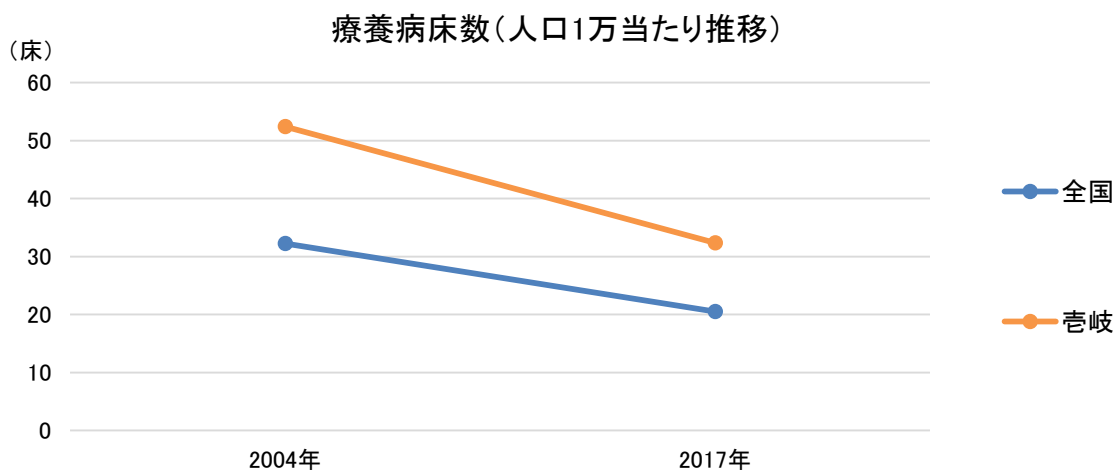
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が290床(人口1万人当たり92(全国平均84)偏差値53)であったが、2017年に246床(人口1万人当たり91(全国平均77)偏差値55)と、44床の減少、率にして15%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。



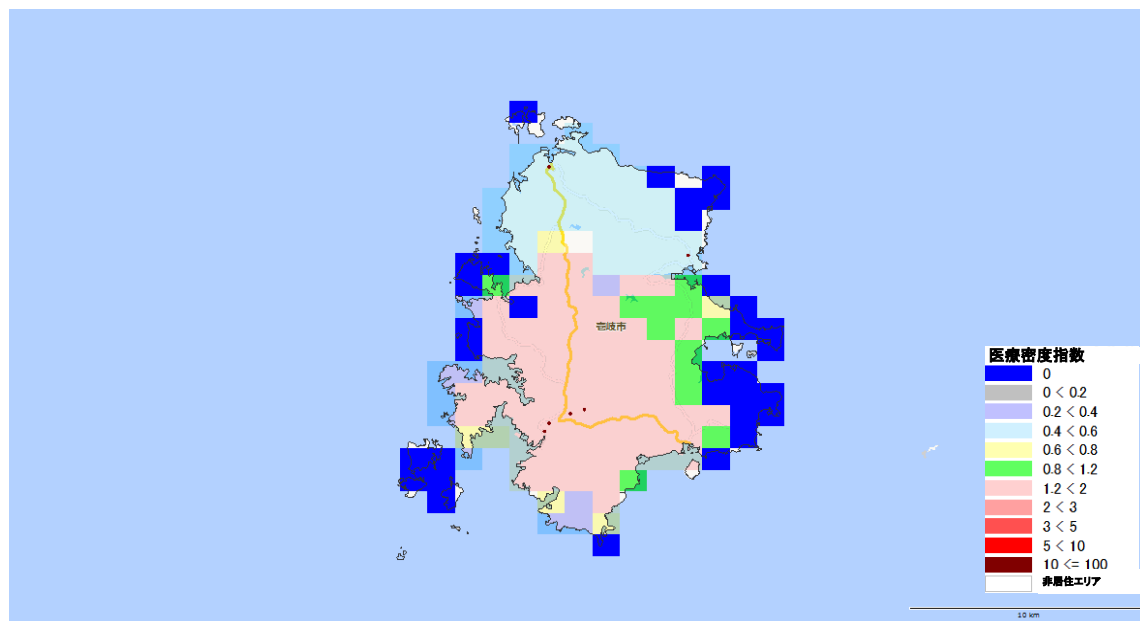
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が253床(75歳以上1,000人当たり52(全国平均32)偏差値61)であったが、2017年に176床(75歳以上1,000人当たり32(全国平均20)偏差値60)と、77床の減少、率にして30%の減少(全国平均11%の減少)が見られた。



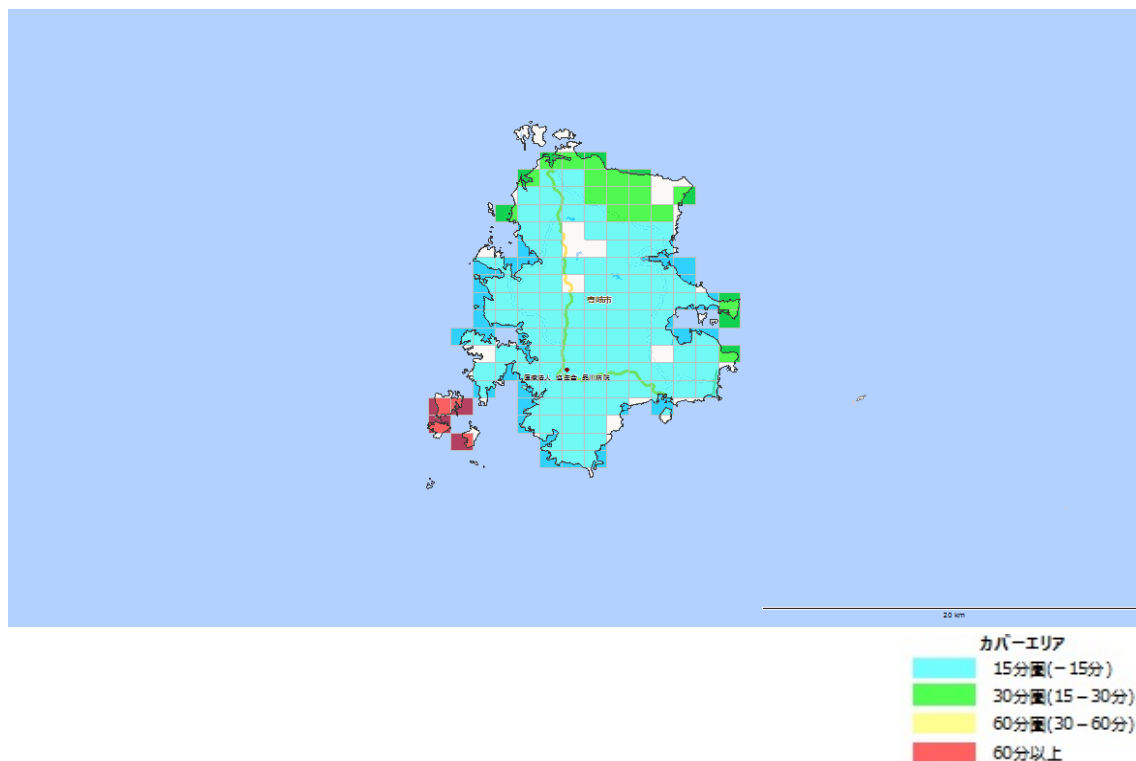
(壱岐医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

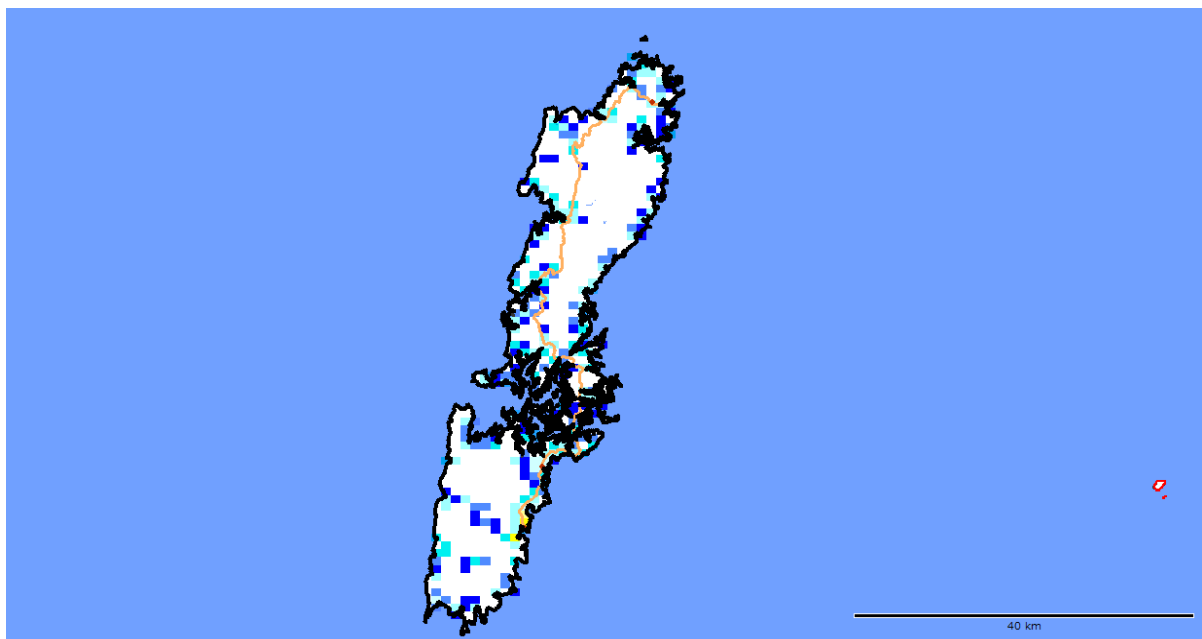


42-8. つしま 対馬医療圏

構成市区町村 [対馬市](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布 (1km²区画単位)



1km²区画 (1km²メッシュ) で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く (10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル (1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない (1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査 (平成22年、総務省) 地図情報GIS
 Market Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口 (1平方キロ)



DPC病院

● I 群

● II 群

● III 群

● 一般病院

(対馬医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 対馬(対馬市)は、総人口約31千人(2015年)、面積709km²、人口密度は44人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 対馬の総人口は2025年に25千人へと減少し(2015年比-19%)、2040年に16千人へと減少する(2025年比-36%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の6千人が、2025年にかけて6千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には5千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 対馬の一人当たり医療費(国保)は356千円(偏差値52)、介護給付費は271千円(偏差値55)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 対馬の一人当たり急性期医療密度指数は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数は2.05で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が41(病院医師数44、診療所医師数33)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は59で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は40と少ない。対馬には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 療養病床は0である。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は44で精神病床数は少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は62で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 対馬の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、630人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が490床(偏差値68)、高齢者住宅等が140床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、539人(75歳以上1,000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム72、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム84、グループホーム55、サ高住なし(偏差値30)である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値43と少ない。介護職員(在宅)の合計は、31人(75歳以上1,000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+25%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(対馬医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

対馬医療圏の総人口は、2005年38,481人が、2015年に31,457人と18%減少し、2025年の人口が24,876人と予測され、2005年→2025年の間に35%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて10%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

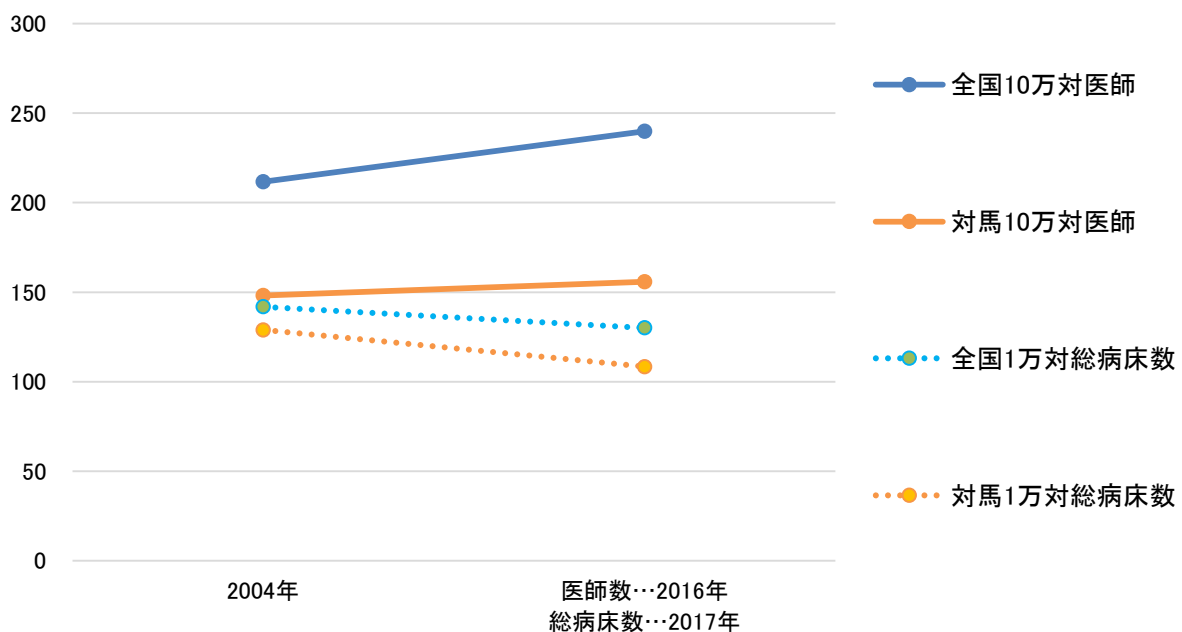
2004年の病院数が3(人口10万人当たり7.8病院(全国平均7.1)偏差値52)であったが、2017年に2(人口10万人当たり6.4病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、13年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が33(人口10万人当たり86診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2017年に32(人口10万人当たり102診療所(全国平均80)偏差値62)と、1診療所が減少した。

2004年の総病床数が496床(人口1万人当たり129(全国平均142)偏差値48)であったが、2017年に341床(人口1万人当たり108(全国平均130)偏差値46)と、155床の減少、率にして31%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

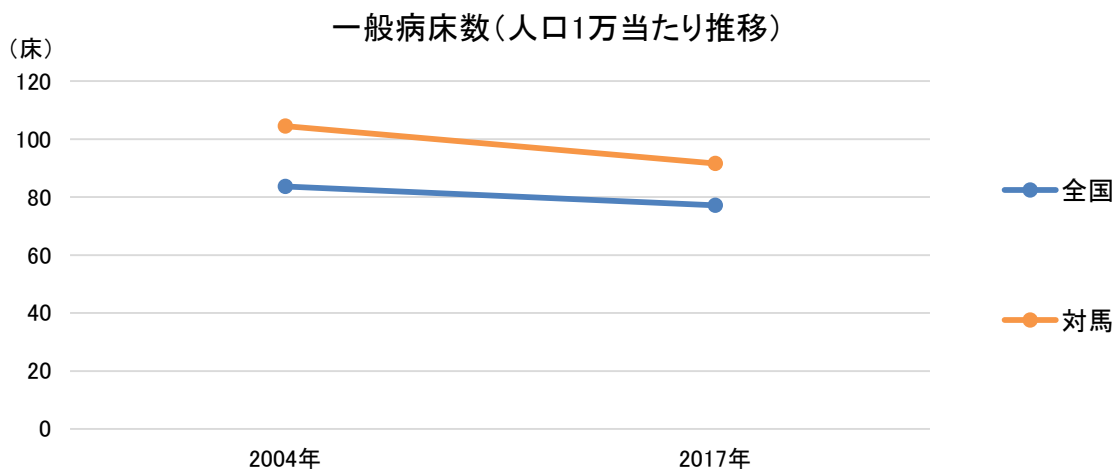
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が57人(人口10万人当たり148人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2016年に49人(人口10万人当たり156人(全国平均240人)偏差値41)と、8人の減少、率にして14%の減少(全国平均13%の増加)が見られた。

人口当たり医師数・総病床数の推移

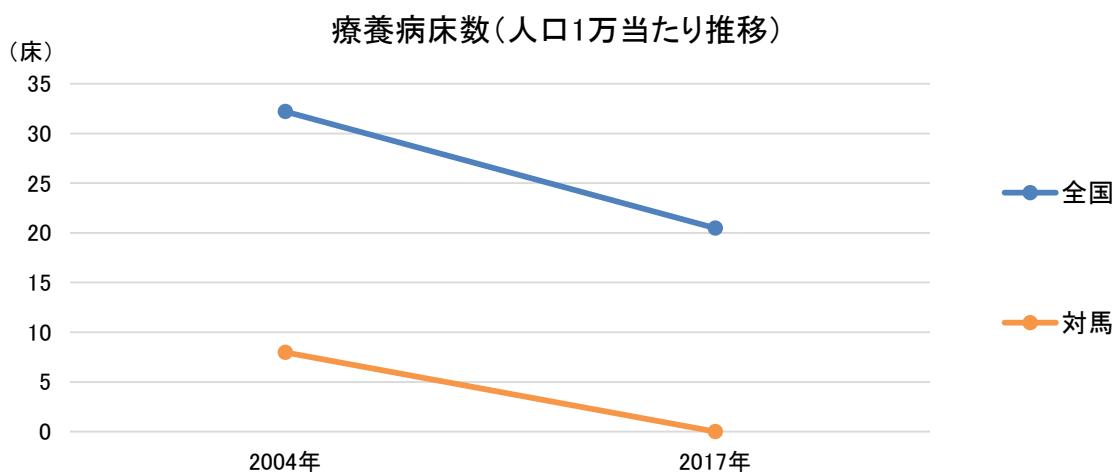


【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が402床(人口1万人当たり104(全国平均84)偏差値57)であったが、2017年に288床(人口1万人当たり92(全国平均77)偏差値56)と、114床の減少、率にして28%の減少(全国平均8%の減少)が見られた。

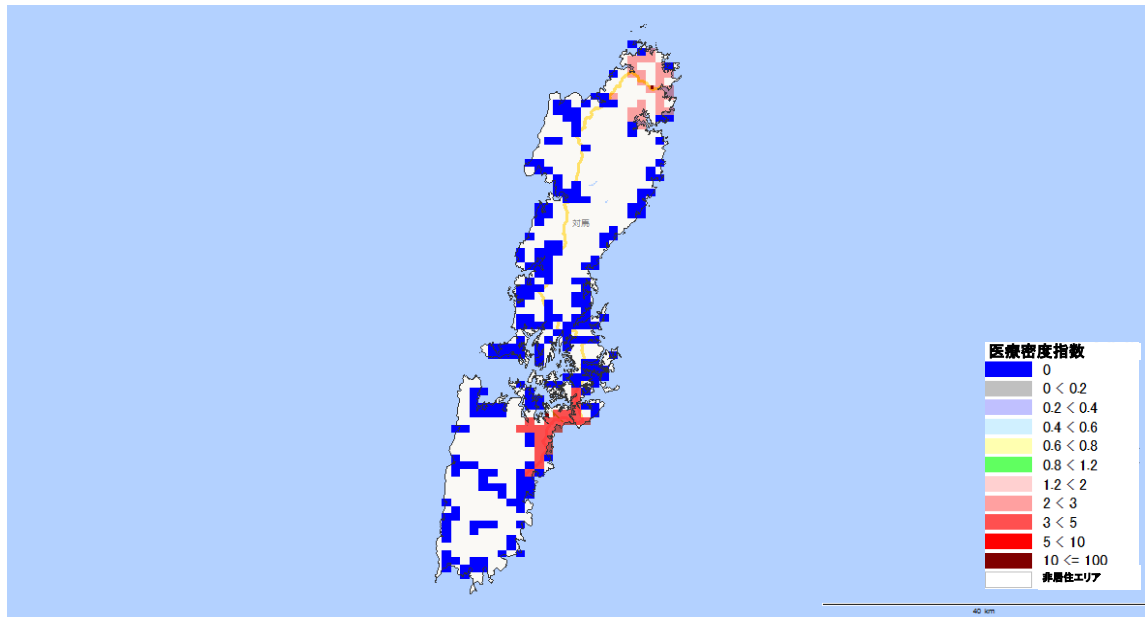


【療養病床()推移】



(対馬医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表42-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表42-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関(病院と有床診療所)への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照(日医総研WP no. 400))

